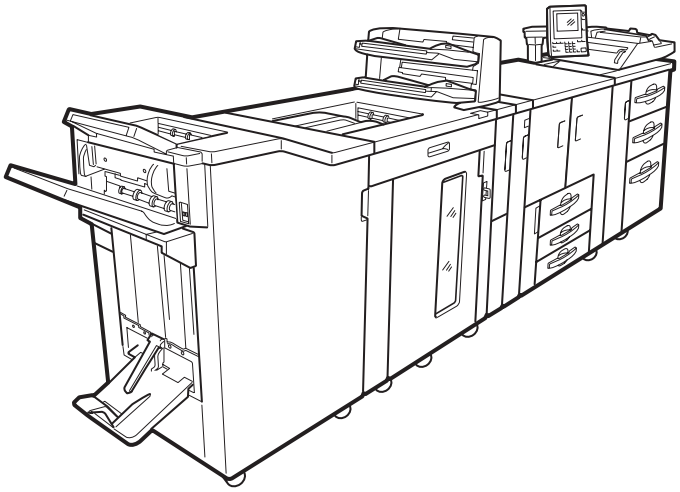
HITACHI
Inspire the Next
日立ページプリンター

HT-4561シリーズ 使用説明書
PostScript 3 ガイド



マニュアルはよく読み、保管してください。

・製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分に理解してください。
・このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

■重要なお知らせ

(1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載あるいは引用することを禁止します。

(2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。

(3) 本書の記述内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。

(4) 弊社指定のオプションまたは消耗品以外を装着してのトラブルについては (3) 項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

(5) 当社では、お客様の誤った操作による障害や故障については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■プリンターの信頼性について

本プリンターは、生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は避けてください。このような使用に対する万一の事故に対し、弊社は一切責任を負いません。

■規制、対策などについて

●電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

●高調波電流規格：JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立正 - 第 3-2 部：限度値 - 高調波電流発生限度値（ 1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

●プリンターでの印刷について

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘らず、法律に違反し、罰せられます。

(1) 複製、印刷することが禁止されているもの

（見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。）

・紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など

・日本や外国の郵便切手、印紙

・関連法規　刑法　第 148 条、第 149 条、第 162 条

・通貨及証券模造取締法　第 1 条、第 2 条　・紙幣類似証券取締法

・郵便切手類模造等取締法　・印紙等模造取締法　等

(2) 不正に複製、印刷することが禁止されているもの

・外国の紙幣、貨幣、銀行券

・株券、手形、小切手などの有価証券

・国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画

・個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画

・関連法規　刑法 第１４９条 第１５５条 第１５９条 第１６２条

・外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

(3) 著作権法で保護されているもの

・著作権法により保護されている著作物（ 書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など）を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

●輸出規制について

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。この装置に付属する周辺機器やソフトウェアも同じ扱いになります。なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

■保守部品について

本プリンターの保守用部品の保有期限は製造打ち切り後５年です。

■版権についてのお知らせ

このマニュアルの内容はすべて著作権によって保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。

はじめに

このたびは、日立ページプリンターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
本機を正しくお使いいただくために、本書は必ずお読みください。
また、お読みいただいたあとも大切に保管してください。
添付品に欠損・欠品等ありましたら、弊社担当営業またはご購入先までご連絡ください。

商標について

Adobe、PostScript、PostScript ロゴ、Acrobat、PageMaker は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標もしくは商標です。
Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標もしくは商標です。
Macintosh、Mac OS、TrueType は米国 Apple Computer,Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Ethernet（イーサネット）はゼロックス社の商標です。
リュウミン L-KL、中ゴシック BBB、太ミン A101、太ゴ B101、じゅん 101 は株式会社モリサワの商標です。
NetWare は米国ノベル社の登録商標です。
その他、記載されている製品名、会社名は、各社の登録商標もしくは商標です。

目次

第 1 章　ご使用の前に

1.1 使用説明書の紹介 1-2
1.2 各使用説明書の記載内容 1-3
1.3 使用説明書一覧表 1-4
1.4 おもなオプションと略称 1-5
1.5 IP アドレスについて 1-6
1.6 使用説明書・ドライバー＆ユーティリティー CD-ROM について 1-7
1.7 ソフトウェアインストールメニュー画面について 1-8
1.8 プリンタードライバーについて 1-10
1.8.1 Windows 版プリンタードライバーの動作環境 1-10
1.8.2 プリンタードライバーの選択 1-11

第 2 章　標準 PostScript プリンタードライバーについて

2.1 Windows Vista/Server 2008 標準 PostScript プリンタードライバー 2-2
2.1.1 プリンターとの接続確認 2-2
2.1.2 使用説明書・ドライバー＆ユーティリティーからのインストール手順 2-5
2.1.3 プリンタードライバー初期値の変更 2-9
2.1.4 アプリケーションソフトからの印刷 2-11
2.1.5 プリンタードライバーのアンインストール 2-12
2.1.5.1 プリンターアイコンの削除 2-12
2.2 Windows 2000/XP/Server 2003 標準 PostScript プリンタードライバー 2-14
2.2.1 プリンターとの接続確認 2-14
2.2.2 使用説明書・ドライバー＆ユーティリティーからのインストール手順 2-16
2.2.3 プリンタードライバー初期値の変更 2-20
2.2.4 アプリケーションソフトからの印刷 2-21
2.2.5 プリンタードライバーのアンインストール 2-22
2.2.5.1 プリンターアイコンの削除 2-22
2.3 プリンター固有機能 2-23
2.4 カスタムサイズ用紙に印刷するには 2-25
2.5 プリンタードライバーのバージョンを確認するには 2-26
2.5.1 Windows Vista/Server 2008 標準 PostScript プリンタードライバー 2-26
2.5.2 Windows 2000/XP/Server 2003 標準 PostScript プリンタードライバー 2-27
2.6 プリンタードライバーの「フォント代替表」の設定手順（増設日本語フォント） 2-28

第 3 章　付録

3.1　Windows Vista/Server 2008 の接続ポートの設定について 3-2
3.1.1 LPR ポートの追加 3-2
3.1.2 印刷するポートの変更 3-5
3.1.2.1 LPR ポートを新規追加する場合 3-6
3.1.2.2 プリントサーバを経由して印刷する場合 3-8
3.2　Windows 2000/XP/Server 2003 の接続ポートの設定について 3-9
3.2.1 印刷するポートの変更 3-9
3.2.1.1 LPR ポートを新規追加する場合 3-10
3.2.1.2 プリントサーバを経由して印刷する場合 3-12
3.3　形名の読み替え 3-13
3.4　サポート対象外機能一覧 3-14
3.5　最新ソフトウェアのダウンロード 3-15
3.5.1 最新の ＯＳ について 3-15
3.6　お問い合わせ先 3-16

第１章

ご使用の前に

第 1 章　ご使用の前に

1.1 使用説明書の紹介

本機には紙の使用説明書と画面で見る使用説明書（PDF）が用意されています。画面で見る使用説明書は付属の CD-ROM に収録されています。説明書の開きかたや使いかたについては、『本機をお使いになる方へ』「使用説明書について」を参照してください。

補足

PDF 形式の使用説明書をご覧になるには、Adobe Acrobat Reader/Adobe Reader が必要です。
以下は本機で用意されている説明書の一覧です。

♦ 本機をお使いになる方へ（）
「安全上のご注意」について記載しています。本機のご利用前に必ずお読みください。
また、本機で使用できる機能の概要、機械を使うための準備、操作部の説明、文字入力方法、付属の CD-ROM のインストール方法、消耗品の交換などについても説明しています。

♦ トラブル解決編（）
困ったときの対処方法などについて説明しています。

♦ プリンター機能編（）
プリンターを使うための設定、機能と操作方法について説明しています。

♦ ネットワーク & システム初期設定編（）
ネットワーク環境で使う方法、機器の接続方法、および付属の CD-ROM に収録されたソフトウェアを使う方法について説明しています。また、システム初期設定の変更方法やアドレス帳の登録方法についても説明しています。

♦ セキュリティー編（）
管理者向けの説明書です。本機のセキュリティー機能を活用することにより、機器の不正使用、データ改ざん、情報漏洩などを未然に防止することができます。
セキュリティー強化のために、最初に下記の設定を行うことをお勧めします。
機器証明書を導入する
SSL を有効にする
Web Image Monitor で、管理者のユーザー名とパスワードを変更する
Web Interface で、プリンター設定用パスワードを変更する。
詳しくは、『セキュリティー編』「まずはじめに」を参照してください。
セキュリティー強化機能や認証の設定を行うときには必ずお読みください。

♦ PostScript 3 ガイド（）
標準 PostScript ドライバーに関する情報、使用方法などについて説明しています。

♦ ユーザーズガイド（）
印刷するための準備、通常印刷、困ったときの対処方法や、消耗品の交換などについて説明しています。
困ったときにすばやく対処できるよう、プリンターの近くに常備しておいてください。

♦ Windows 7/8/8.1/Windows Server 2008 R2/2012/2012 R2 対応版 ドライバーガイド（）
Windows 7/8/8.1/Windows Server 2008 R2/2012/2012 R2 対応のドライバーをインストールする際に、従来 OS と異なる一部手順について、説明しています。

1.2 各使用説明書の記載内容

本機に添付されている、説明書の記載内容を簡単に説明します。

ユーザーズガイド（紙面）	本機をお使いになる方へ（PDF）	プリンター機能編（PDF）	トラブル解決編（PDF）	ネットワーク & システム 初期設定編 (PDF)	セキュリティー編（PDF）	PostScript3 ガイド（PDF）	Windows 7/8/8.1/ Windows Server 2008 R2/2012/ 2012 R2 対応版 ドライバーガイド（PDF）
お使いいただくための注意事項	お使いいただくための注意事項	インターフェースを接続する	困ったときには	システム初期設定について	管理者認証を設定する	標準 PS ドライバーのインストール	印刷するための準備
各部の名称とはたらき	各部の名称とはたらき	M ドライバーのインストール	操作部にメッセージが表示されたとき	用紙設定	ユーザー認証を設定する	標準 PS ドライバーの設定	プリンタードライバー画面と設定方法
電源のいれかた切りかた	ログイン画面が表示されたとき	M ドライバーの設定	印刷が始まらないとき	プリンター初期設定	ハードディスク蓄積情報の漏洩を防ぐ		付録
用紙をセットする	電源のいれかた切りかた	仮想プリンターの設定	用紙、ステープラーの針がつまったとき	インターフェースを接続する	本機へのアクセスを管理する		
インターフェースを接続する	用紙の補給と仕様	印刷する	パンチくず、針くず、断裁くずがいっぱいになったとき	ネットワークの設定	ネットワークセキュリティーを強化する		
標準 PS ドライバーのインストール	トナー、ステープラーの針がなくなったとき	製本や仕分けなどをする場合に便利な機能		Web Image Monitor を使う	セキュリティー強化機能を設定する		
標準 PS ドライバーの設定	スタッカーの取り扱い	操作部で使用できる本機の機能		Web Interface を使う	ユーザー認証がうまくいかなかったとき		
アプリケーションからの印刷	保守運用のために	一般初期設定を変更する		ユーザーを登録する			
用紙サイズを変更する。		管理者設定を変更する					
困ったときには		セキュリティー機能について					
トナー、ステープラーの針がなくなったとき							
用紙、ステープラーの針がつまったとき							
パンチくず、針くず、断裁くずがいっぱいになったとき							
スタッカーから出力用紙を取り出す							
サービスコールエラー一覧							

1.3 使用説明書一覧表

分冊名	紙マニュアル	画面で見る使用説明書 PDF 形式のマニュアル
本機をお使いになる方へ	なし	有り（ ）
トラブル解決編	なし	有り（ ）
プリンター機能編	なし	有り（ ）
ネットワーク＆システム 初期設定編	なし	有り（）
セキュリティー編	なし	有り（ ）
PostScript 3 ガイド	なし	有り（）
ユーザーズガイド	有り（ ）	なし
Windows 7/8/8.1/Windows Server 2008 R2/2012/2012 R2 対応版 ドライバーガイド	なし	有り（ ）

1.4 おもなオプションと略称

おもなオプションの名称と、本文中で使用している略称を示します。

形名	商品名	略称
HT-F4561-SCD	セキュリティカード タイプ D	セキュリティーカード
HT-F4561-VM1	ＶＭ カード タイプ Ｅ	VM カード
HT-F4561-CL	オペレーターコールライト	オペレーターコールライト
HT-F4561-FN30	3000 枚フィニッシャー	3000 枚フィニッシャー
HT-F4561-FN25	2500 枚フィニッシャー	2500 枚中とじフィニッシャー
HT-F4561-PNC30	2/3 穴パンチユニット	2/3 穴パンチユニット
HT-F4561-PNC25	２穴パンチユニット	2 穴パンチユニット
HT-F4561-TRM	トリマー	トリマー
HT-F4561-TRK	A3 トレイキット	A3 トレイキット
HT-F4561-HTL	手差しトレイ	手差しトレイ（トレイ 7）
HT-F4561-FED	インサートフィーダー	インサーター
HT-F4561-FDU	紙折りユニット	紙折りユニット
HT-F4561-LT4	A4LCT	大量給紙トレイ
HT-F4561-LT3	A3LCT	ワイド大量給紙トレイ
HT-F4561-ST50	5000 枚スタッカー	スタッカー
HT-F4561-PCT	ペーパーカート	台車（スタッカー・トレイ）
HT-F4561-DCU	デカーラユニット	デカーラー
HT-F4558-F101	増設フォント 1	（商品名と同じ名称）
HT-F4558-F102	増設フォント 2	（商品名と同じ名称）
HT-F4558-F103	増設フォント 3	（商品名と同じ名称）
HT-F4558-F201	増設日本語フォント JIS2004 セット Ｊ 明朝	（商品名と同じ名称）
HT-F4558-F202	増設日本語フォント JIS2004 セット Ｊ ゴシック	（商品名と同じ名称）
HT-F4558-F203	増設日本語フォント JIS2004 セット Ｗ 明朝	（商品名と同じ名称）
HT-F4558-F204	増設日本語フォント JIS2004 セット Ｗ ゴシック	（商品名と同じ名称）
HT-F4558-F205	増設日本語フォント日立書体明朝	（商品名と同じ名称）
HT-F4558-F206	増設日本語フォント日立書体ゴシック	（商品名と同じ名称）
HT-F4558-F207	増設日本語フォント日立書体セット２明朝	（商品名と同じ名称）
HT-F4558-F208	増設日本語フォント日立書体セット２ゴシック	（商品名と同じ名称）

補足

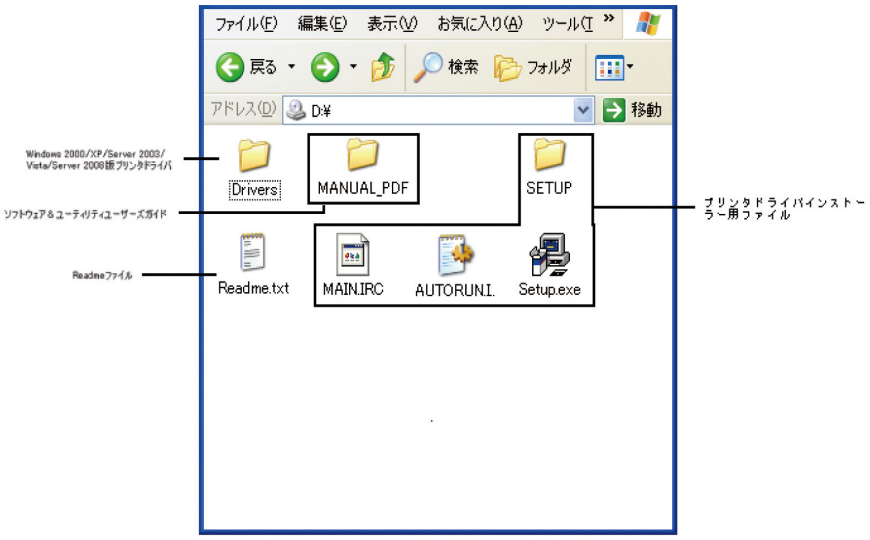
・デカーラーは必須オプションとなります。
・HT-4561-135 をお使いの場合 3000 枚フィニッシャーでパンチは使用できません。
・排紙部（3000 枚フィニッシャー、2500 枚中とじフィニッシャー、スタッカー）は最低１つ必要となります。
・3000 枚フィニッシャーと 2500 枚中とじフィニッシャーは同時に装着できません。
・ワイド大量給紙トレイと大量給紙トレイは同時に装着できません。

1.5 IP アドレスについて

本書で「IP アドレス」と表記されている場合は、IPv4 と IPv6 の両環境に対応していることを示しています。お使いの環境に合わせてお読みください。
本機では、2 つの IP アドレスを設定する必要があります。本文中で“システムの IP アドレス”と表記されている場合は、システム初期設定で設定されている IP アドレスを指定してください。“プリンターの IP アドレス”と表記されている場合は、プリンター初期設定で設定されている IP アドレスを指定してください。

1.6 使用説明書・ドライバー & ユーティリティー CD-ROM について

「使用説明書・ドライバー & ユーティリティー」CD-ROM には、次のようなソフトウェアやユーティリティーが格納されています。

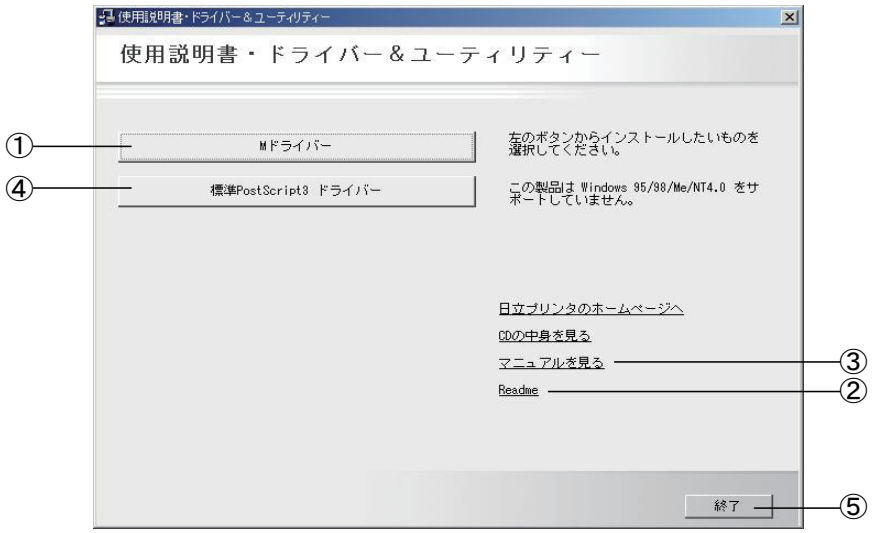


参考 「使用説明書・ドライバー & ユーティリティー」CD-ROM は、Windows 用の ISO9660 フォーマットと、Mac OS 用の HFS フォーマットを持ったハイブリッド形式で記録されています。このため Windows が動作するコンピュータでは CD-ROM の Windows 用の領域が、Macintosh では CD-ROM の Mac OS 用の領域がそれぞれ自動的に読み出されます。

注意 「使用説明書・ドライバー & ユーティリティー」CD-ROM 内の “Readme” ファイルには、本書に記載されていない最新の追加情報やプリンタードライバー等の使用上の注意事項が記述されています。「使用説明書・ドライバー & ユーティリティー」CD-ROM に格納されているソフトウェアやユーティリティをご使用の前に必ずお読みください。

1.7 ソフトウェアインストールメニュー画面について

「使用説明書・ドライバー＆ユーティリティー」CD-ROM を、Windows が動作するコンピュータの CD-ROM ドライブにセットすると、自動的にメニュー画面が表示されます。



① M ドライバー

M ドライバーのインストールを行います。詳しくはプリンター機能編（ ）をご覧ください。

> **注意**
> 上位システムの構成により、推奨となるプリンタードライバーが異なります。本 CD-ROM には M ドライバー及び、標準 PostScript ドライバーの 2 種類が含まれています。上位システムとの組み合わせにより、あらかじめ必要なプリンタードライバーをご確認ください。
> なお、上記メニュー画面で［M ドライバー］をクリックすると、M ドライバーがインストールされます。標準 PostScript ドライバーのインストール方法については、本マニュアルの第 2 章 標準 PostScript プリンタードライバーについてを参照してください。

② ReadMe ファイルの表示

ReadMe ファイルを表示します。「使用説明書・ドライバー＆ユーティリティー」CD-ROM に関する使用上の注意事項が記述されています。ご使用の前にお読みください。

③ マニュアルを見る

使用説明書のインストールや閲覧ができます。
使用説明書へのリンクを表示します。

> **参考** 使用説明書を表示するには、Adobe Reader が必要です。

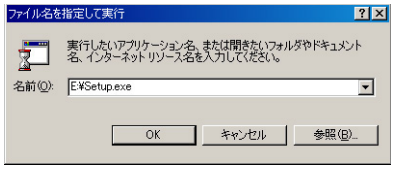
④ 標準 PostScript3 ドライバー

標準 PostScript3 ドライバーのインストールを行います。

⑤ 終了

メニュー画面を終了します。

参考 メニュー画面が自動的に起動しない場合は、［スタート］→［ファイル名を指定して実行...］を選択します。
［参照］ボタンをクリックして、CD-ROM ドライブから［Setup.exe］を選択して［開く］ボタンをクリックします。
下図ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。



1.8 プリンタードライバーについて

Windows や Mac OS などの基本ソフトが動作するコンピュータからご購入のプリンターに印刷するためには、“プリンタードライバー”と呼ばれるソフトウェアが必要となります。

1.8.1 Windows 版プリンタードライバーの動作環境

「使用説明書・ドライバー & ユーティリティー」CD-ROM に格納されているプリンタードライバーは、以下の基本ソフトが動作するコンピュータに組み込むこと（= インストール）ができます。

◇ Microsoft Windows Server 2008 日本語版
◇ Microsoft Windows Vista 日本語版
◇ Microsoft Windows Server 2003 日本語版
◇ Microsoft Windows XP 日本語版
◇ Microsoft Windows 2000 日本語版

印刷を行うコンピュータには、コンピュータ上で動作している基本ソフトの種類に応じて、個々にプリンタードライバーをインストールします。

プリンタードライバーは、コンピュータの基本ソフト上で動作するソフトウェアですが、次のような役割があります。

（１）印刷可能な用紙サイズやプリンターに搭載されているフォントなどのプリンター情報を、
アプリケーションソフトに伝達する。
（２）用紙サイズの選択やステープル位置の指定など、プリンター固有の機能を利用できるように
ユーザインタフェースを提供する。
（３）アプリケーションソフトから印刷が指示されると、アプリケーションソフト上の文書データを、
PostScript のプリンターで処理可能な印刷データに変換する。

1.8.2 プリンタードライバーの選択

プリンタードライバーは、M ドライバーと標準 Postscript ドライバーがあります。
各ドライバーのインストール方法や使用方法については、以下の説明箇所をご覧ください。

プリンタードライバーの種類	説明箇所
M ドライバー	『プリンター機能編』（ ）
標準 PostScript ドライバー	第 2 章　標準 PostScript プリンタードライバーについて

⚠ 注意

JIS2004 対応および日立書体対応フォントは標準 PostScript ドライバーでしか対応しておりません。これらのフォントをご使用になる場合は標準 PostScript ドライバーをインストールしてください。
なお、使用するフォント名により、選択するドライバー名が異なります。ドライバーのインストール方法については、上表の説明箇所を参照してください。また、上記フォントについては、注意事項があります。詳細は、次の内容を参照してください。

参照

・『本機をお使いになる方へ』 「増設日本語フォント JIS2004 対応および日立書体対応フォントの注意事項」

第 2 章

標準 PostScript プリンタードライバーについて

第 2 章　標準 PostScript プリンタードライバーについて

Windows から印刷するためには、ご使用のコンピュータにあらかじめプリンタードライバーをインストールする必要があります。以下の手順にしたがってプリンターとの接続確認を行い、LPR ポートの追加、プリンタードライバーをインストールしてください。

2.1 Windows Vista/Server 2008 標準 PostScript プリンタードライバー

2.1.1 プリンターとの接続確認

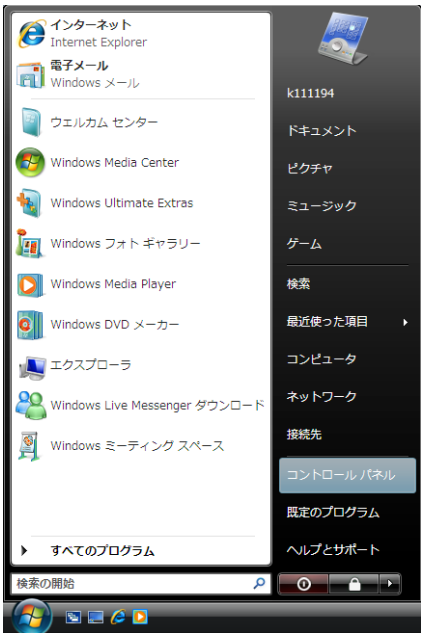
Windows からネットワーク経由でプリンターに直接印刷するためには、Windows に対して TCP/IP 環境を構築し、LPR ポートの設定を行う必要があります。プリンタードライバーをインストールする前に、Windows のネットワーク設定プリンターとコンピュータとの接続確認を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

参考 プリンター本体のネットワークに関する設定方法は、製品添付の「ネットワーク＆システム初期設定編」をご覧ください。また、Windows からネットワーク経由でプリンターに印刷する場合、本章で説明する LPR 印刷以外に Windows 同士の共有プリンター経由で印刷する方法もあります。

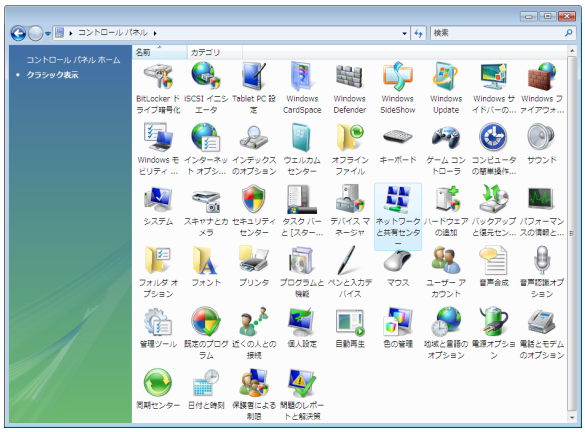
1 プリンターとコンピュータをネットワークに接続して、プリンターの電源を入れます。

2 Windows を起動して、[Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名でログオンします。

3 まず、Windows の TCP/IP 設定を確認します。
[スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

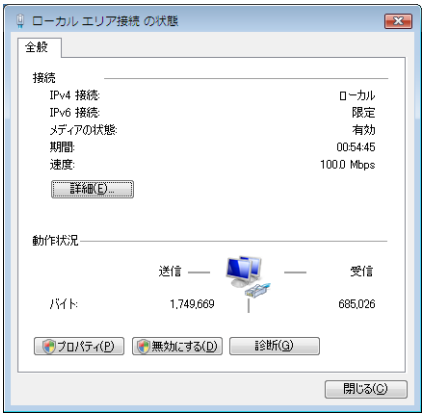


4 [ネットワークと共有センター] アイコンをダブルクリックします。[ネットワークと共有センター] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから [クラシック表示] を選択してください。

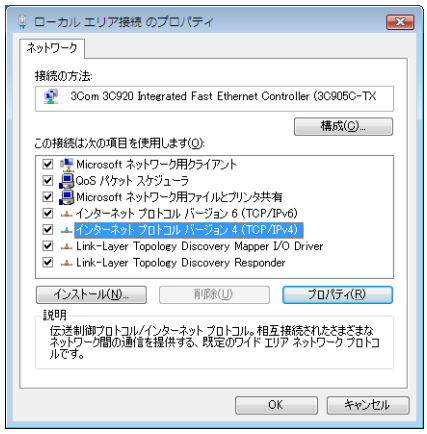


5 [ローカルエリア接続] の [状態の表示] をクリックします。

6 [プロパティ] ボタンをクリックします。

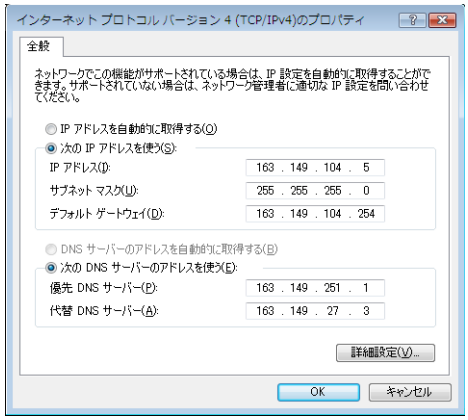


7 リストから [インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)] を選択して、[プロパティ] ボタンをクリックします。



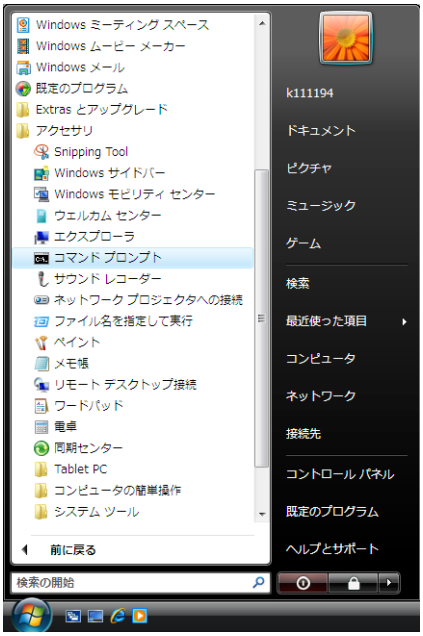
注意 [ローカルエリア接続のプロパティ] ダイアログが表示される前に、ユーザアカウントを確認するための [ユーザアカウント制御] ダイアログが表示されるときは、[続行] ボタンをクリックします。

8 [IP アドレス] などの設定が正しく行われていることをご確認ください。

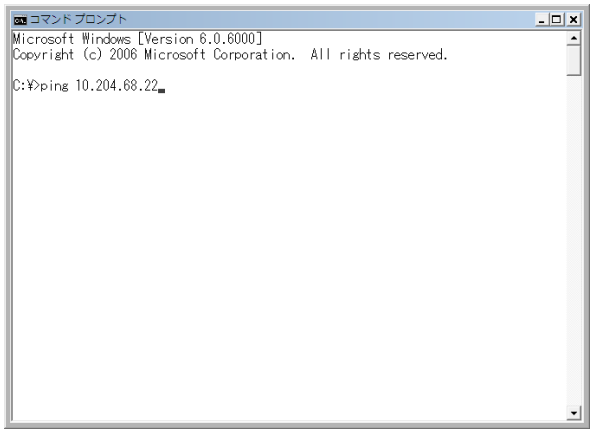


参考 IP アドレスなどの Windows に関する設定方法の詳細は、Windows のマニュアルやヘルプを参照したり、ネットワーク管理者にお問い合わせください。また、TCP/IP に関する技術情報は市販の図書などを参考にしてください。

9 次に、プリンターと Windows の間で TCP/IP 通信ができることを確認します。[スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を選択します。

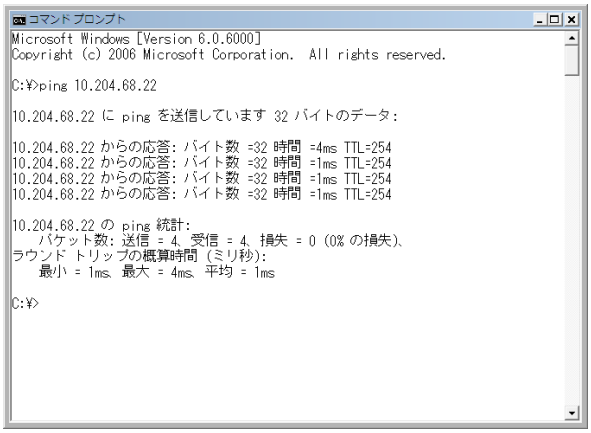


10 図のように ping コマンドを入力します。ping に続けてプリンターの IP アドレスを入力します。



参考 プリンターの IP アドレスは、プリンター初期設定で設定されている IP アドレスを指定してください。

11 図のように「Reply」メッセージが表示されれば接続確認の完了です。プリンタードライバーのインストールに進みます。「Request timed out.」が表示された場合は、プリンターの電源、ネットワークケーブルの接続、プリンターまたはコンピュータの TCP/IP 設定などを、再度ご確認ください。



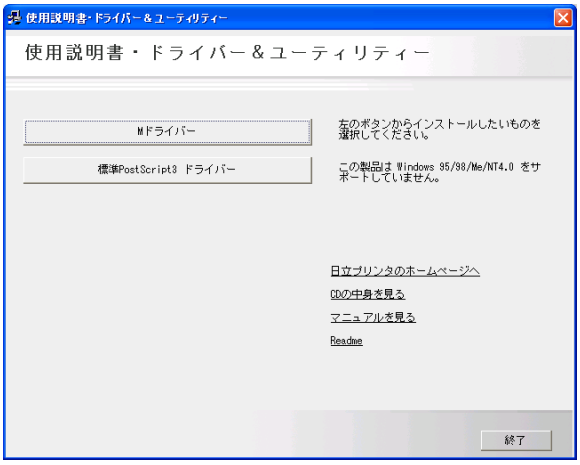
2.1.2 使用説明書・ドライバー＆ユーティリティーからのインストール手順

Windows Vista/Server 2008 標準 PostScript プリンタードライバーは、「使用説明書・ドライバー＆ユーティリティー」CD-ROM を使用してインストールすることができます。以下の手順にしたがってプリンタードライバーのインストールを行ってください。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

> **注意**
> 異なるバージョンのプリンタードライバーをインストールする場合は、既にインストールされているドライバーを先にアンインストールしてください。
> ドライバーのアンインストール方法については、「2.1.5 プリンタードライバーのアンインストール」をご覧ください。

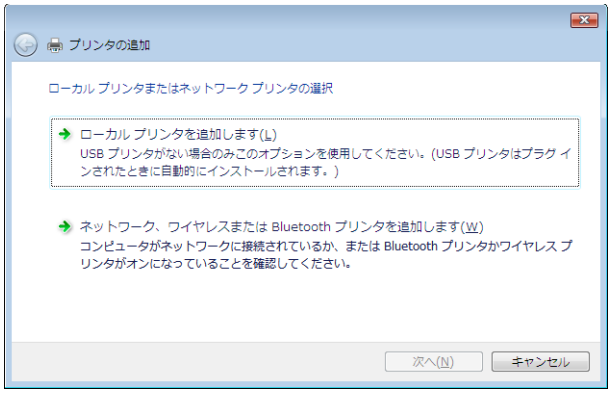
1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 本機に付属の「使用説明書・ドライバー＆ ユーティリティー」CD-ROM をセットします。
インストーラーが起動します。
OS の設定によってはインストーラーが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートフォルダにある「Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。



3 [標準 PostScript3 ドライバー] をクリックします。
[プリンタの追加ウィザード] が表示されます。

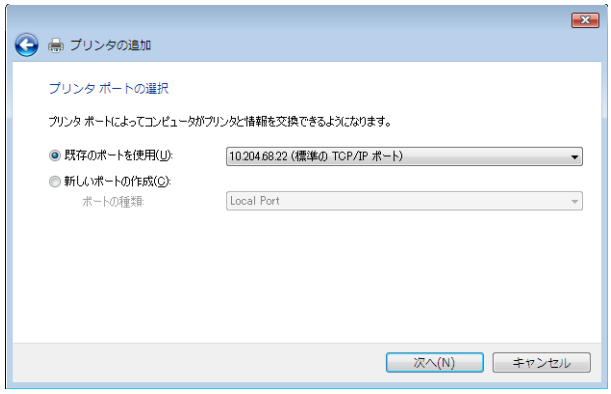
4 [ローカルプリンタを追加します]をクリックします。



ポイント プリンターをネットワーク接続でご使用になる場合や、他のプリントサーバを経由して印刷する場合でも通常は［ローカルプリンタを追加します］を選択してください。

参考 ネットワーク上の他のコンピュータにある共有プリンターに対する設定を行う場合は、［ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します］を選択します。ネットワーク上のコンピュータおよびプリンターが検索され、ツリー形式で表示されます。ご使用になるコンピュータおよび共有プリンターを選択してください。ネットワーク環境によっては検索に時間がかかる場合があります。

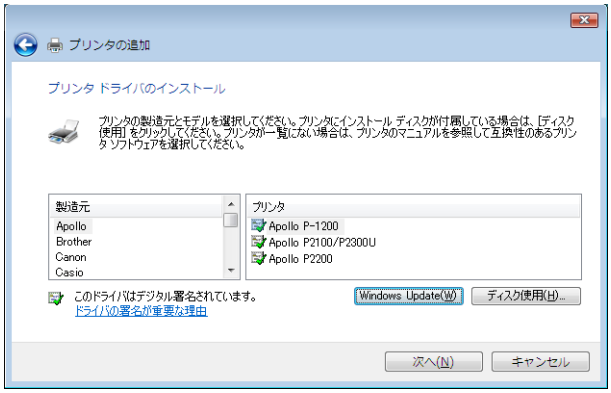
5 プリンターとの接続ポートを選択して［次へ］ボタンをクリックします。



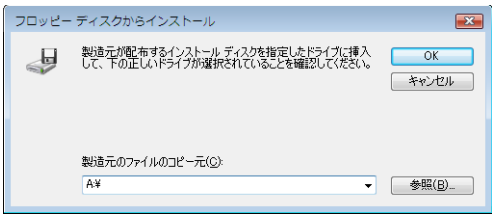
新たに接続ポートを追加する場合は、［新しいポートの作成］とポートの［種類］を選択して［次へ］ボタンをクリックします。

ポイント LPR ポート（Standard TCP/IP Port）を追加する場合は「3.1.1 LPR ポートの追加」を参照してください。
また、「2.1.1 プリンターとの接続確認」や「3.1.2.1 LPR ポートを新規追加する場合」も合わせてご覧ください。
接続ポートの設定は、プリンタードライバーのインストール完了後に変更することも可能です。「3.1.2 印刷するポートの変更」をご覧ください。

6 [ディスク使用] ボタンをクリックします。



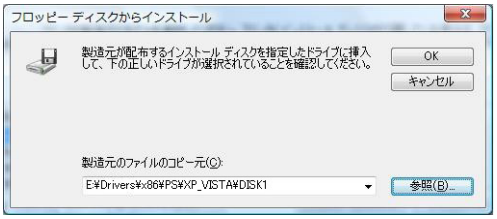
7 [参照] ボタンをクリックします。



8 CD-ROM ドライブの [DISK1] フォルダに移動し、[開く] ボタンをクリックします。

ポイント 64bit 版標準 PostScript ドライバーは、Drivers¥x64¥PS¥XP_VISTA¥DISK1¥ に格納されています。
32bit 版標準 PostScript ドライバーは、Drivers¥x86¥PS¥XP_VISTA¥DISK1¥ に格納されています。

9 [OK] ボタンをクリックします。

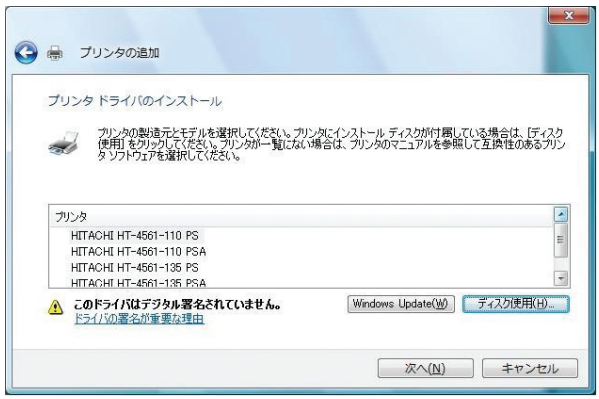


10 使用するフォント名により、プリンターモデル（ドライバー名）を選択して［次へ］ボタンをクリックします。

例１）下記例２、例３の日本語フォントオプションを購入されていない場合は、「HT-4561-110 PS/HT-4561-135 PS」を選択してください。

例２）下記の日本語フォントオプションを購入されてご使用になる場合は、「HT-4561-110 PSA/HT-4561-135 PSA」を選択してください。
- JIS2004 セット J 明朝
- JIS2004 セット J ゴシック
- JIS2004 セット W 明朝
- JIS2004 セット W ゴシック

例３）下記の日本語フォントオプションを購入されてご使用になる場合は、「HT-4561-110 PSB/HT-4561-135 PSB」を選択してください。
- 日立書体明朝
- 日立書体ゴシック
- 日立書体セット２明朝
- 日立書体セット２ゴシック

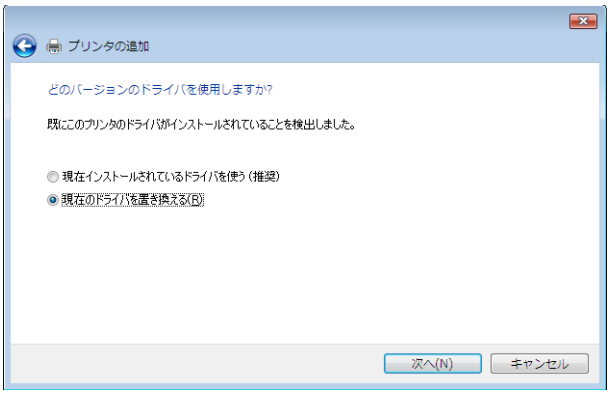


※上図はイメージ図です。実際の画面には「HT-4561-110 PSB/HT-4561-135 PSB」のプリンタードライバー名も表示されます。

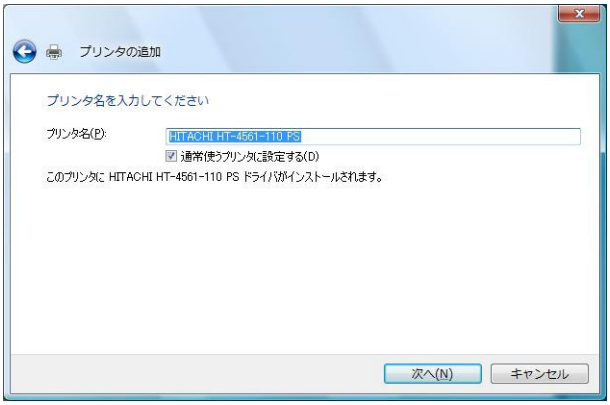
参照

増設日本語フォント JIS2004 セット J/JIS2004 セット W/ 日立書体 / 日立書体セット 2 をご使用になる場合、下記の内容も参照してください。
・『本機をお使いになる方へ』「増設日本語フォント JIS2004 対応および日立書体対応フォントの注意事項」

11 下図のダイアログが表示された場合は、[現在のドライバを置き換える] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。



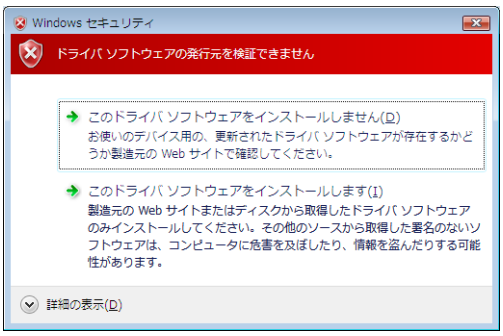
12 [プリンタ名] を入力します。このプリンタードライバーを通常使用するかどうか選択して [次へ] ボタンをクリックします。



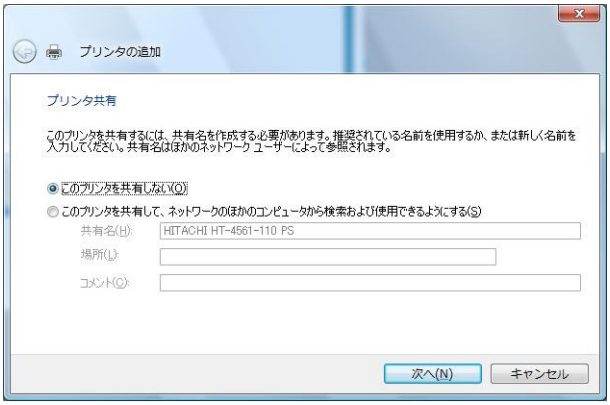
注意

プリンターの追加を実行する前に、ユーザアカウントを確認するための [ユーザアカウント制御] ダイアログが表示されるときは、[続行] ボタンをクリックします。

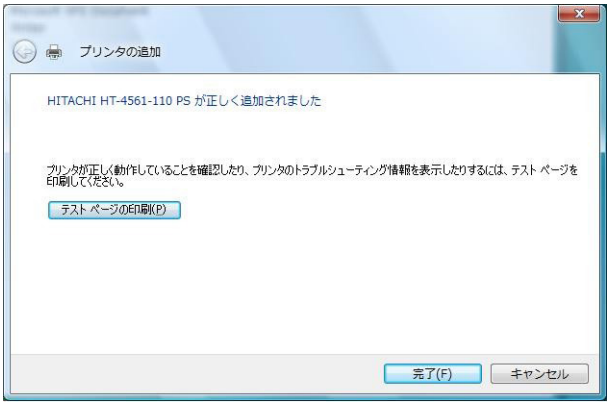
13 ドライバーソフトウエアの発行元をチェック検証した結果として下図の [Windows セキュリティ] ダイアログが表示されますが、ここでは [このドライバソフトウエアをインストールします] をクリックします。



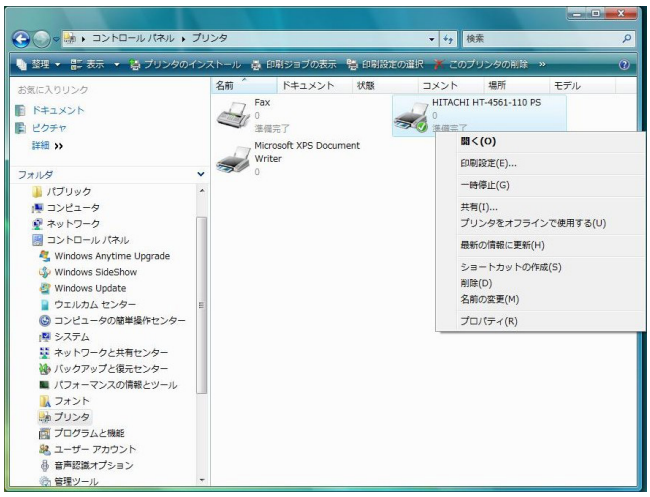
14 本機をネットワークで共有するときは [共有名]、共有しないときは [このプリンタを共有しない] を選択し、[次へ] をクリックします。



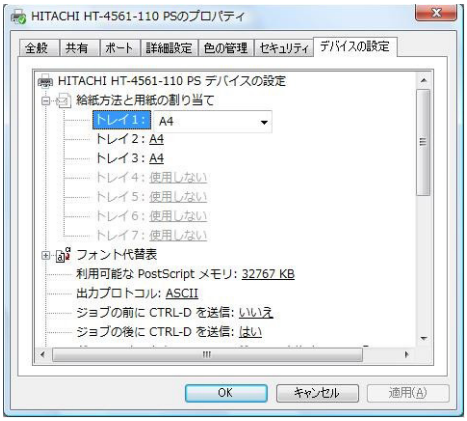
15 プリンターのセットアップおよびプリンタードライバーのインストールが正しく行われたかどうかを確認するため [テストページの印刷] ボタンをクリックして [完了] ボタンをクリックします。



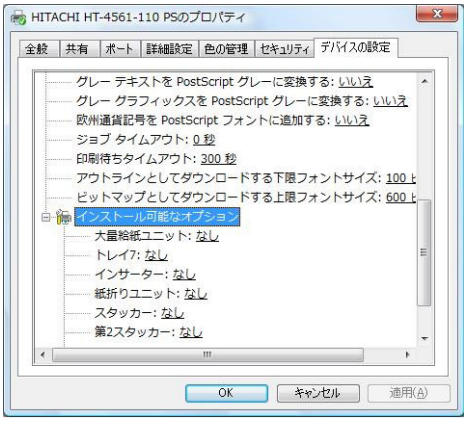
16 次に［デバイスオプション］の設定をします。［プリンタ］フォルダで、プリンターアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして［プロパティ］を選択します。



17 ［デバイスの設定］タブを選択します。



18 リストをスクロールさせて、［インストール可能なオプション］を表示します。ここでオプション装置の装着状況を設定します。



注意

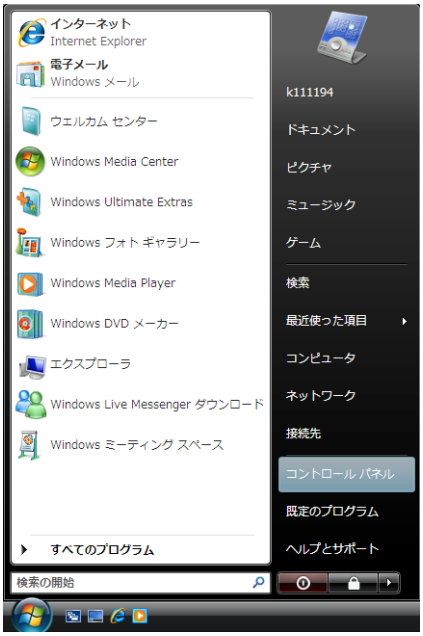
コンピュータとプリンターをパラレルインターフェースで接続する場合、ジョブを連続して送信し、操作部からジョブをキャンセルすると、後続のジョブもキャンセルされる場合があります。後続のジョブがキャンセルされることを回避するためには、PostScript ジョブの末尾に［Ctrl-D］を付加するようにしてください。

19 ［OK］ボタンをクリックして［プロパティ］を閉じます。

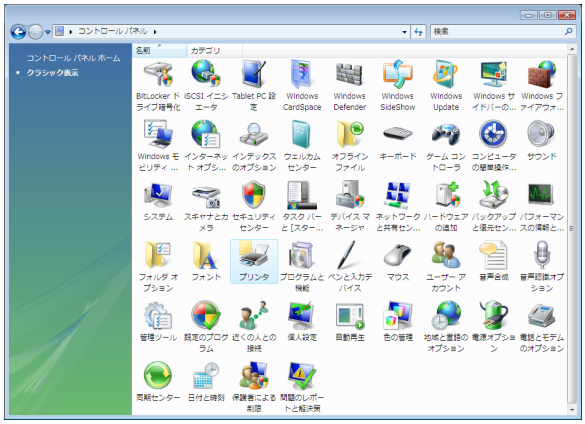
2.1.3 プリンタードライバー初期値の変更

プリンタードライバーの初期設定値を変更するには、次の手順で［印刷設定］を表示します。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

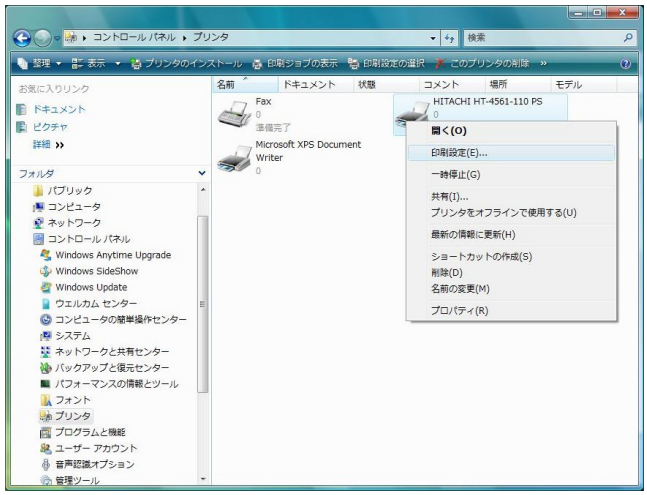
1 ［スタート］→［コントロールパネル］を選択し、コントロールパネルを開きます。



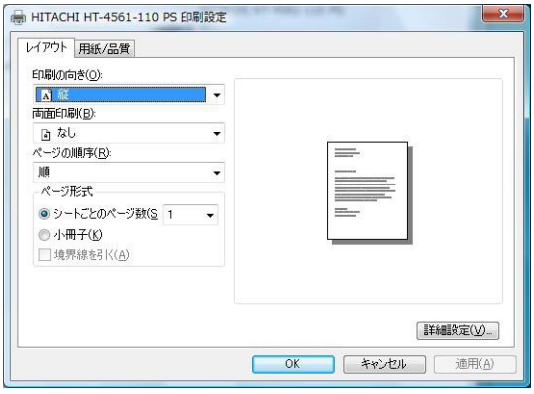
2 ［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。［プリンタ］アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから［クラシック表示］を選択してください。



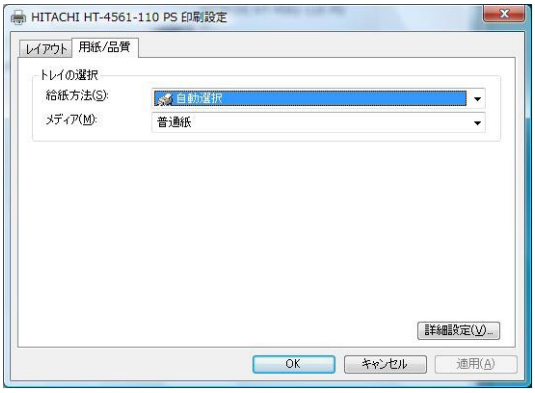
3 プリンターアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして［印刷設定］を選択します。



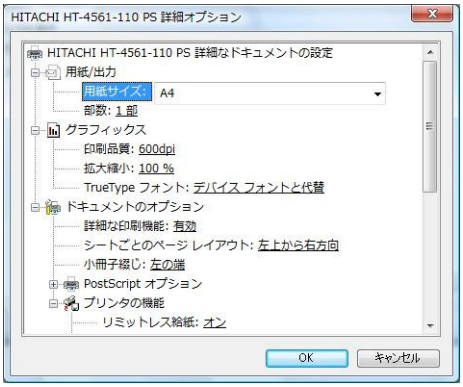
4 ［レイアウト］［用紙 / 品質］タブをクリックすると、印刷設定の表示内容が切り替わります。



5 さらに［詳細設定］ボタンをクリックすると［詳細オプション］が表示されます。



6 設定内容を保存するには [OK] ボタンをクリックして
プロパティを閉じます。



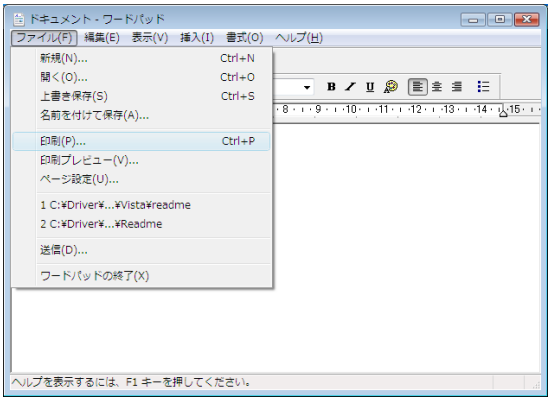
ポイント 各項目の詳細については「2.3 プリンター固有機能」
の説明をご覧ください。

2.1.4 アプリケーションソフトからの印刷

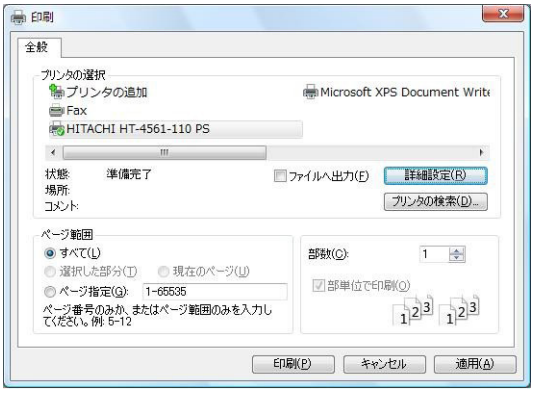
アプリケーションソフトから印刷するときにプリンタードライバーの設定を変更するには、次の手順で操作を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

> **注意** アプリケーションソフトによっては、印刷ダイアログを独自に拡張しているものがあります。アプリケーションソフト固有の印刷機能やオプション設定などについては、それぞれのアプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

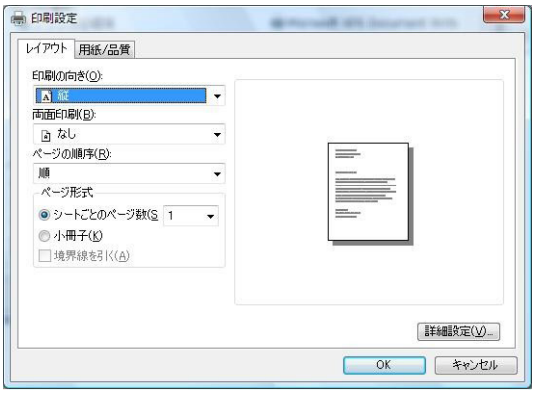
1 アプリケーションソフトを起動して、[ファイル] → [印刷] を選択します。



2 [プリンタの選択] リストからプリンタードライバーを選択し、[詳細設定] ボタンをクリックします。

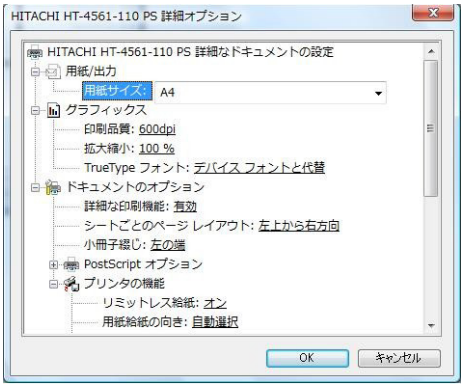


3 [詳細設定] ボタンをクリックすると [詳細オプション] が表示されます。

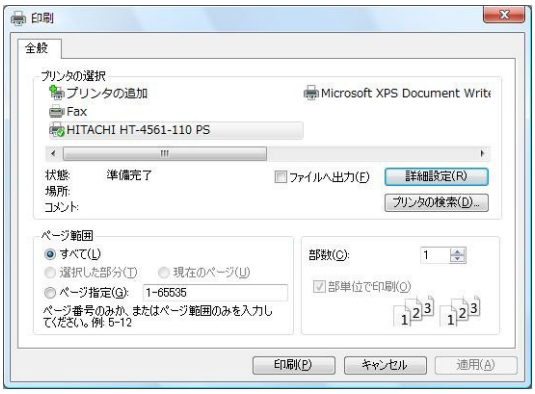


> **ポイント** 各項目の詳細については「2.3 プリンター固有機能」の説明をご覧ください。

4 プリンタードライバーの設定を変更し、[OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。



5 [印刷] ボタンをクリックします。



> **注意** アプリケーションソフトによっては、[部単位で印刷] や [丁合い] のチェックボックスが表示されるものがあります。この [部単位で印刷] や [丁合い] のチェックは必ず外してください。チェックボックスをチェックした状態で複数部数印刷を行うと、プリンターへ送信する印刷データ量が増大して印刷スピードが低下する原因となります。また、ステープルやジョブ仕分けなどのオプション機能も正常に働きません。
> 印刷ダイアログの [部単位で印刷] または [丁合い] のチェックを外して印刷を行っても、[プリンタの機能] → [丁合い] の設定が“有効”（初期値）であれば、各部ごとにページ順で印刷を行うことができます。

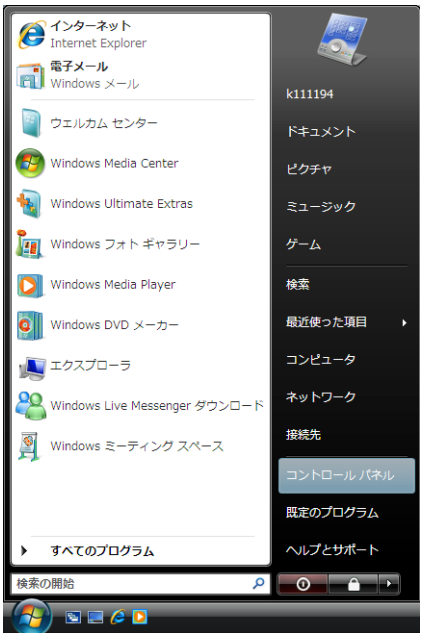
2.1.5 プリンタードライバーのアンインストール

2.1.5.1 プリンターアイコンの削除

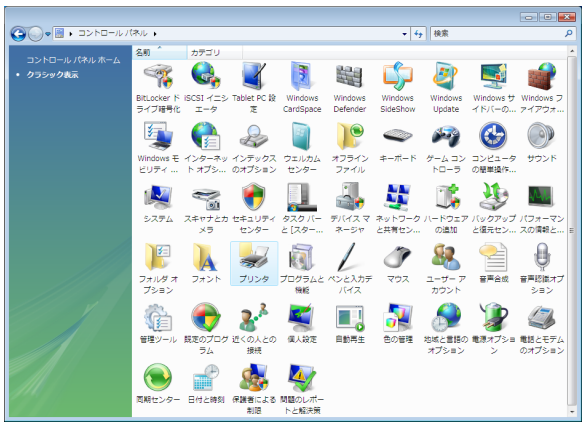
プリンタードライバーを削除するには、次の手順で操作を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

1 [Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名で Windows にログオンします。このとき動作中のアプリケーションソフトはすべて終了させてください。

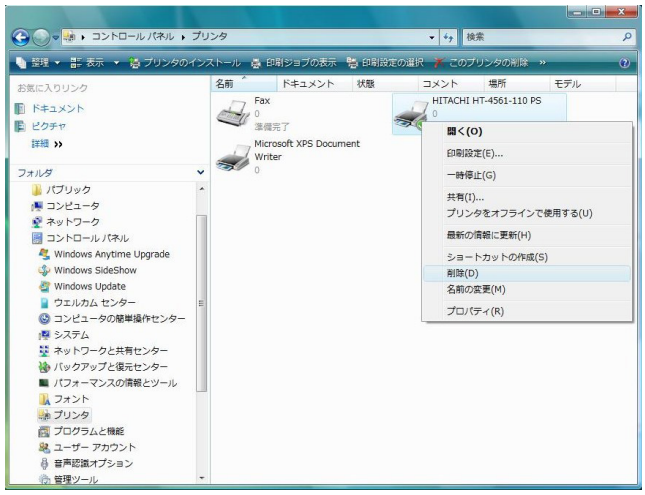
2 [スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。



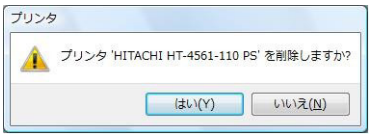
3 [プリンタ] アイコンをダブルクリックします。[プリンタ] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから [クラシック表示] を選択してください。



4 削除するプリンタードライバーのプリンターアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [削除] を選択します。



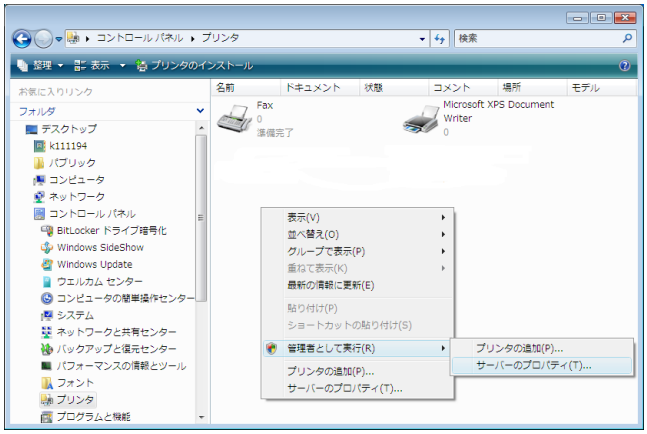
5 [はい] ボタンをクリックします。削除したいプリンターに対して **4** から **5** を繰り返します。



6 次の処理を行うために一旦 Windows を再起動します。

! ポイント 続けて **7** 以降の処理を行うためには必ずコンピュータを再起動してください。再起動しない場合はプリンタードライバー関連のファイルを削除することができません。

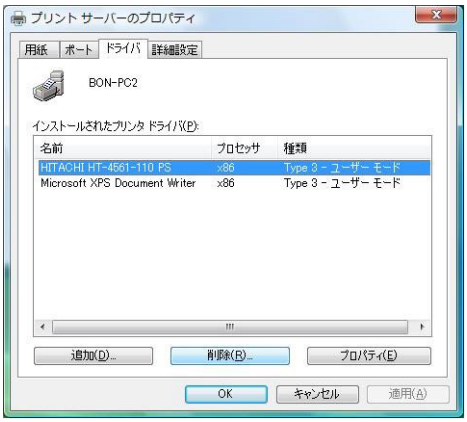
7 再度、[コントロールパネル] → [プリンタ] を開きプリンターリスト上で右ボタンをクリックして[管理者として実行] → [サーバーのプロパティ] を選択します。



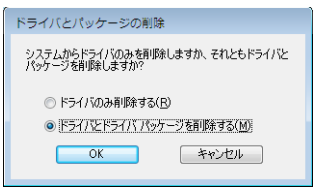
⚠ 注意

[サーバーのプロパティ] メニュー選択すると、ユーザアカウントを確認するための [ユーザアカウント制御] ダイアログが表示されるときは、[続行] ボタンをクリックします。

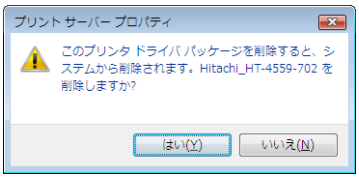
8 [プリントサーバーのプロパティ] ダイアログが表示されます。[インストールされたプリンタ ドライバ] のリストから削除対象のプリンター名を選択して [削除] ボタンをクリックします。



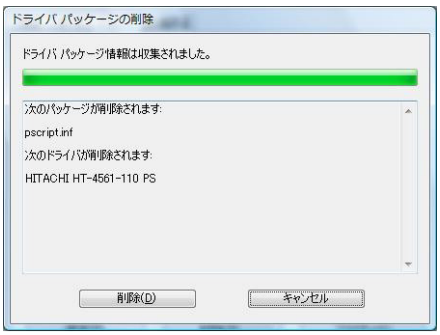
9 [ドライバとドライバパッケージを削除する] を選択して [ＯＫ] ボタンをクリックします。



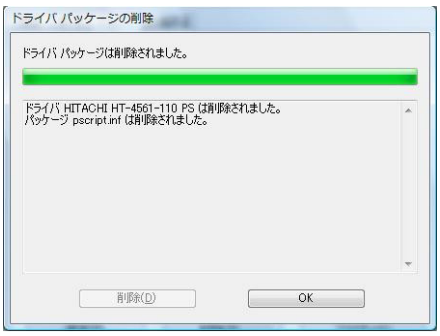
10 削除確認メッセージが表示されますので [はい] ボタンをクリックします。



11 [ドライバパッケージの削除] ダイアログが表示されますので [削除] ボタンをクリックします。



12 削除されたドライバパッケージが表示されます。最後に [OK] ボタンをクリックします。



2.2 Windows 2000/XP/Server 2003 標準 PostScript プリンタードライバー

2.2.1 プリンターとの接続確認

Windows からネットワーク経由でプリンターに直接印刷するためには、Windows に対して TCP/IP 環境を構築し、LPR ポートの設定を行う必要があります。プリンタードライバーをインストールする前に、Windows のネットワーク設定、プリンターとコンピュータとの接続確認を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows 2000 の例です。

参考 プリンター本体のネットワークに関する設定方法は、製品添付の「ユーザーズ ガイド」をご覧ください。また、Windows からネットワーク経由でプリンターに印刷する場合、本章で説明する LPR 印刷以外に NetWare サーバ経由で印刷する方法や Windows 同士の共有プリンター経由で印刷する方法もあります。

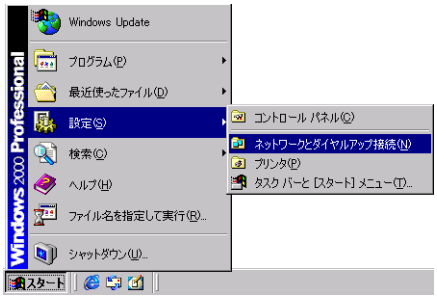
1 プリンターとコンピュータをネットワークに接続して、プリンターの電源を入れます。

2 Windows を起動して、[Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名でログオンします。

3 まず、Windows の TCP/IP 設定を確認します。

Windows 2000 の場合

[スタート] → [設定] → [ネットワークとダイアルアップ接続] を選択します。



Windows XP の場合

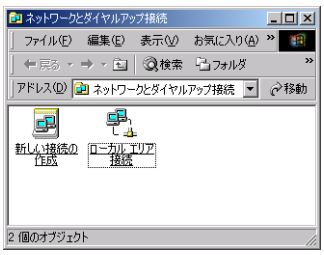
[スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。
次に [ネットワークとインターネット接続] をクリックします。

Windows Server 2003 の場合

[スタート] → [コントロールパネル] → [ネットワーク接続] を選択し、ネットワーク接続を開きます。

4 **Windows 2000/Server 2003 の場合**

[ローカルエリア接続] アイコンをダブルクリックします。

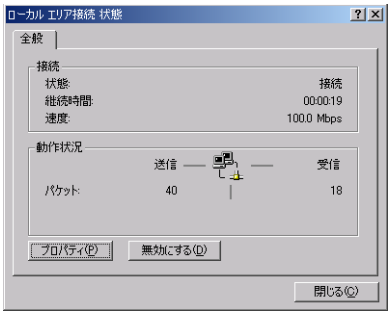


Windows XP の場合

[ネットワーク接続] をクリックします。
次に [ローカルエリア接続] アイコンを選択し、[ネットワークタスク] → [この接続の設定を変更する] をクリックします。

5 **Windows 2000/Server 2003 の場合**

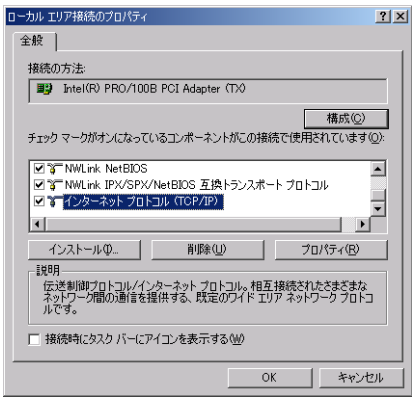
[プロパティ] ボタンをクリックします。



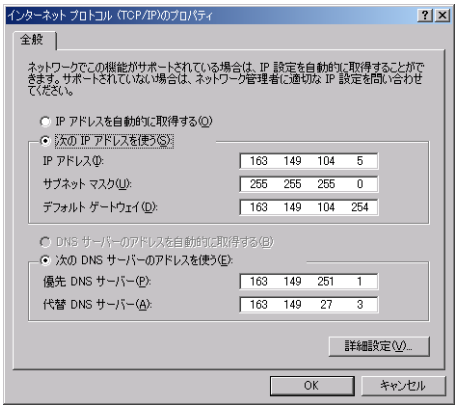
Windows XP の場合

6 に進みます。

6 リストから [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択して、[プロパティ] ボタンをクリックします。



7 [IP アドレス]などの設定が正しく行われていることをご確認ください。

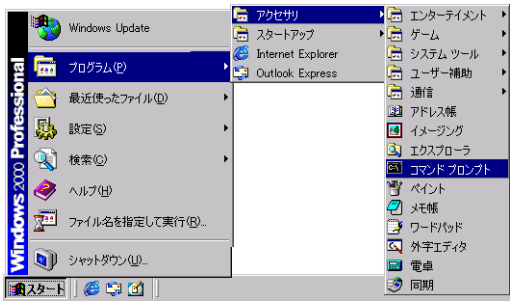


参考 IP アドレスなどの Windows に関する設定方法の詳細は、Windows のマニュアルやヘルプを参照したり、ネットワーク管理者にお問い合わせください。また、TCP/IP に関する技術情報は市販の図書などを参考にしてください。

8 次に、プリンターと Windows の間で TCP/IP 通信ができることを確認します。

Windows 2000 の場合

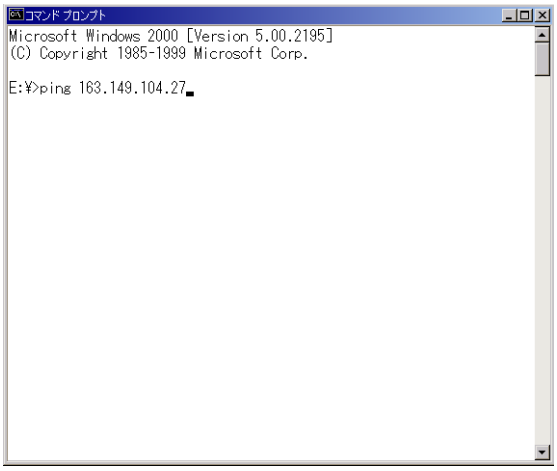
[スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を選択します。



Windows XP/Server 2003 の場合

[スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を選択します。

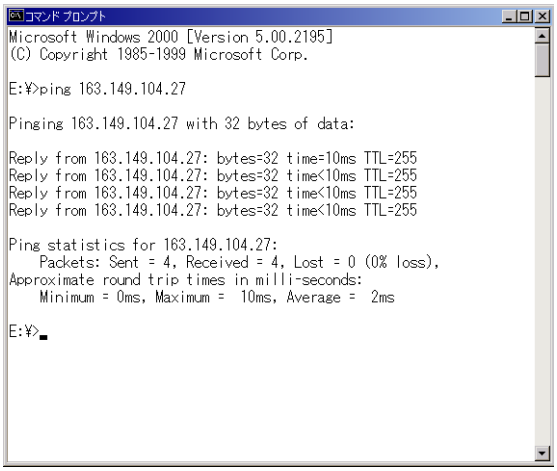
9 図のように ping コマンドを入力します。ping に続けてプリンターの IP アドレスを入力します。



参考 プリンターの IP アドレスは、プリンター初期設定で設定されている IP アドレスを指定してください。

10 図のように「Reply」メッセージが表示されれば接続確認の完了です。プリンタードライバーのインストールに進みます。

「Request timed out.」が表示された場合は、プリンターの電源、ネットワークケーブルの接続、プリンターまたはコンピュータの TCP/IP 設定などを、再度ご確認ください。



ポイント LPR ポートの設定はプリンタードライバーのインストール時に行います。

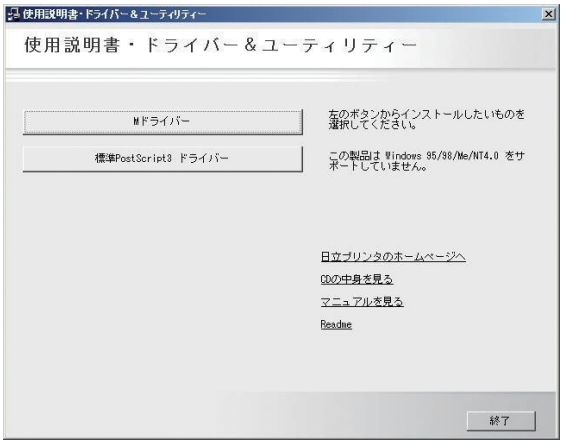
2.2.2 使用説明書・ドライバー＆ユーティリティーからのインストール手順

Windows 2000/XP/Server 2003 標準 PostScript プリンタードライバーは、「使用説明書・ドライバー＆ユーティリティー」CD-ROM を使用してインストールすることができます。以下の手順にしたがってプリンタードライバーのインストールを行ってください。なお、説明に用いる画面は、Windows Server 2003 R2(64 ビット版）の例です。

> **注意**
> 異なるバージョンのプリンタードライバーをインストールする場合は、既にインストールされているドライバーを先にアンインストールしてください。
> ドライバーのアンインストール方法については、「2.1.5 プリンタードライバーのアンインストール」をご覧ください。

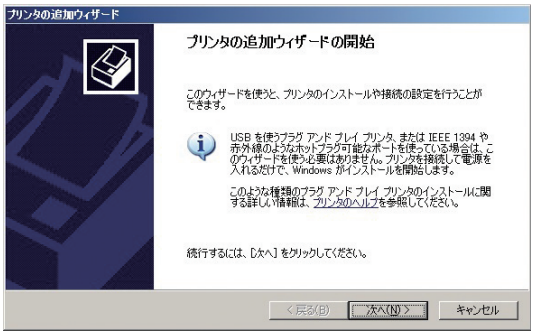
1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 本機に付属の「使用説明書・ドライバー＆ ユーティリティー」CD-ROM をセットします。
インストーラーが起動します。
OS の設定によってはインストーラーが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートフォルダにある「Setup.exe」をダブルクリックして起動してください。

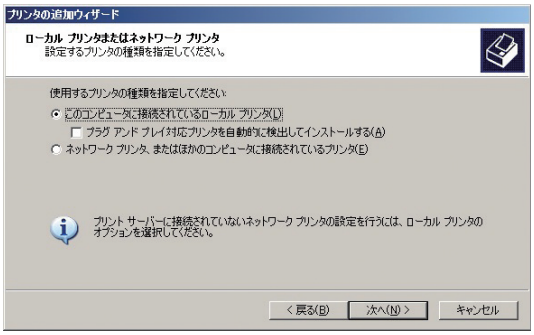


3 [標準 PostScript3 ドライバー] をクリックします。
[プリンタの追加ウィザード] が表示されます。

4 [次へ] ボタンをクリックします。



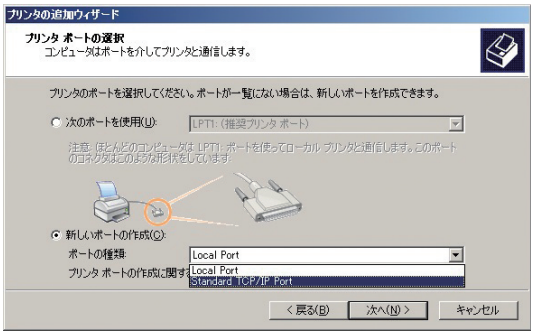
5 [ローカルプリンタ] を選択し、[プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックを外して[次へ]ボタンをクリックします。



ポイント [ネットワークプリンタ] を選択することもできますが、ここではプリンターをネットワーク接続でご使用になる場合でも［ローカルプリンタ］を選択してください。

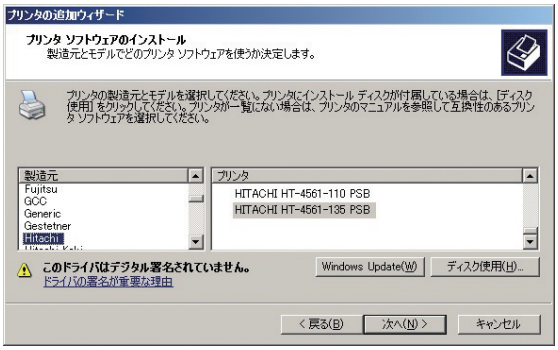
参考 ネットワーク上の他のコンピュータにある共有プリンターに対する設定を行う場合は、[ネットワークプリンタ] を選択します。ネットワーク上のコンピュータおよびプリンターが検索され、ツリー形式で表示されます。ご使用するコンピュータおよび共有プリンターを選択してください。ネットワーク環境によっては検索に時間がかかる場合があります。

6 [新しいポートの作成] とポートの [種類] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。

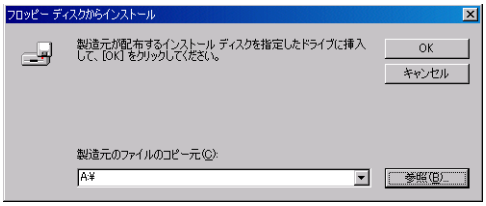


ポイント LPR ポート (Standard TCP/IP Port) を追加する場合は「2.1.1 プリンターとの接続確認」や「3.2.1.1 LPR ポートを新規追加する場合」をご覧ください。
また、接続ポートの設定は、プリンタードライバのインストール完了後に変更することも可能です。「3.2.1 印刷するポートの変更」をご覧ください。

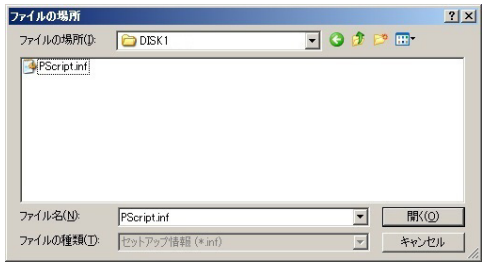
7 [ディスク使用] ボタンをクリックします。



8 [参照] ボタンをクリックします。

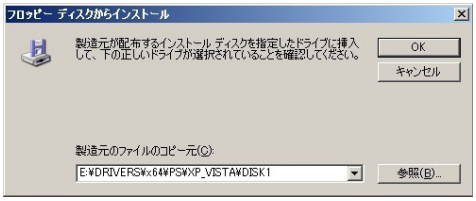


9 CD-ROM ドライブの [DISK1] フォルダに移動し、[開く] ボタンをクリックします。



ポイント 64bit 版標準 PostScript ドライバーは、Drivers¥x64¥PS¥XP_VISTA¥DISK1¥ に格納されています。
32bit 版標準 PostScript ドライバーは、Drivers¥x86¥PS¥XP_VISTA¥DISK1¥ に格納されています。

10 [OK] ボタンをクリックします。

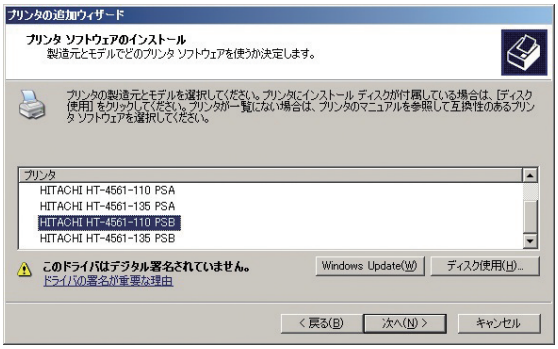


11 使用するフォント名により、プリンターモデル（ドライバー名）を選択して［次へ］ボタンをクリックします。

例１）下記例２、例３の日本語フォントオプションを購入されていない場合は、「HT-4561-110 PS/HT-4561-135 PS」を選択してください。

例２）下記の日本語フォントオプションを購入されてご使用になる場合は、「HT-4561-110 PSA/HT-4561-135 PSA」を選択してください。
- JIS2004 セット J 明朝
- JIS2004 セット J ゴシック
- JIS2004 セット W 明朝
- JIS2004 セット W ゴシック

例３）下記の日本語フォントオプションを購入されてご使用になる場合は、「HT-4561-110 PSB/HT-4561-135 PSB」を選択してください。
- 日立書体明朝
- 日立書体ゴシック
- 日立書体セット２明朝
- 日立書体セット２ゴシック

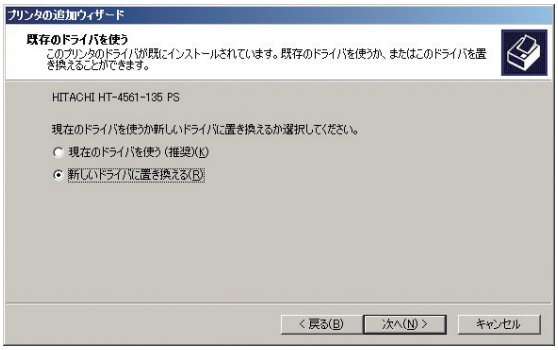


参照

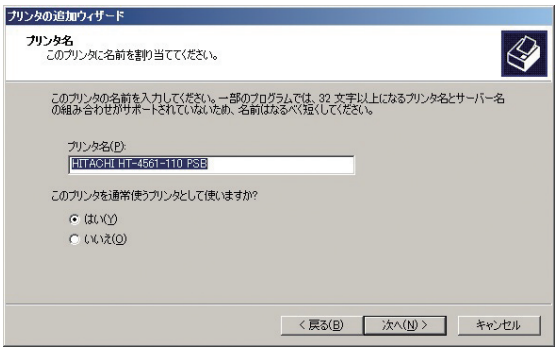
上記の増設日本語フォント JIS2004 セット J/JIS2004 セット W/ 日立書体 / 日立書体セット 2 をご使用になる場合、下記の内容も参照してください。

・『本機をお使いになる方へ』「増設日本語フォント JIS2004 対応および日立書体対応フォントの注意事項」

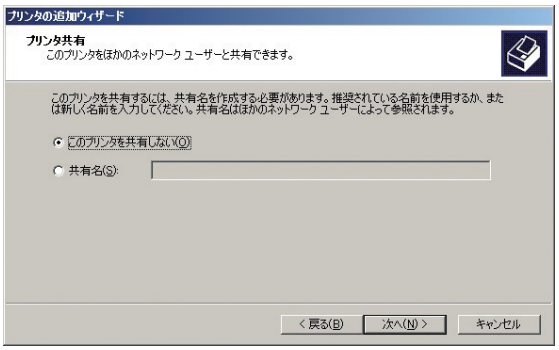
12 下図のダイアログが表示された場合は、［新しいドライバに置き換える］を選択して［次へ］ボタンをクリックします。



13 ［プリンタ名］を入力します。このプリンタードライバーを通常使用するかどうか選択して［次へ］ボタンをクリックします。

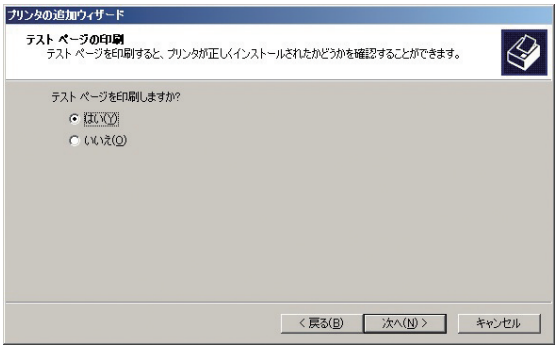


14 ［このプリンタを共有しない］を選択して［次へ］ボタンをクリックします。

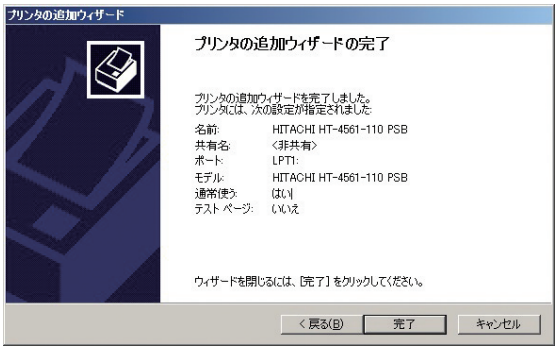


ポイント プリンター共有はプリンタードライバーのインストール完了後にも設定することができます。

15 プリンターのセットアップおよびプリンタードライバーのインストールが正しく行われたかどうかを確認するには［はい］を選択して［次へ］ボタンをクリックします。

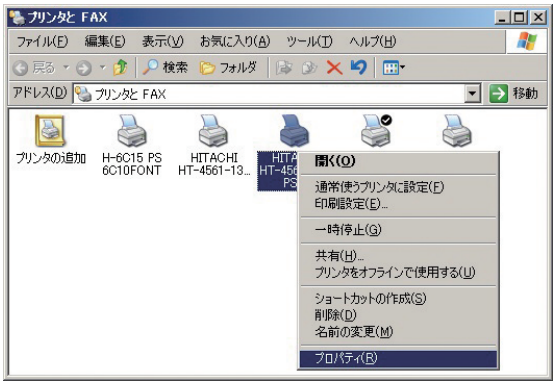


16 [完了] ボタンをクリックします。

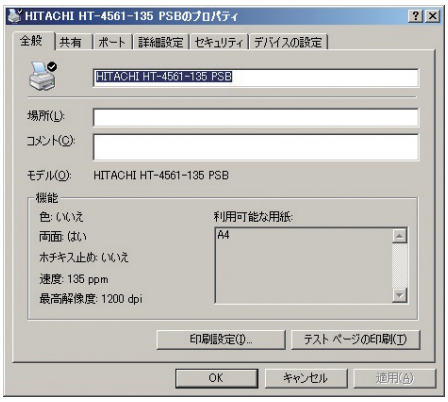


17 Windows XP/Server 2003 では［ハードウェアのインストール］ダイアログが表示されますので、［続行］ボタンをクリックします。ここでファイルのコピーが行われ、［プリンタ］フォルダにプリンターアイコンが追加されます。

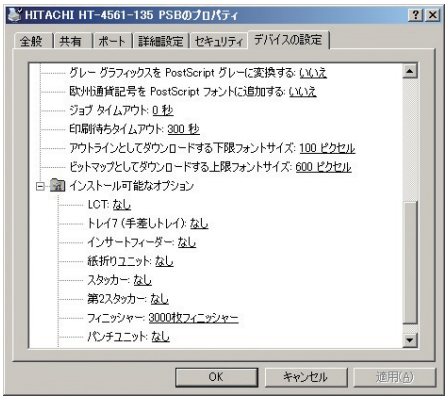
18 次に［デバイスオプション］の設定をします。［プリンタ］フォルダで、プリンターアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして［プロパティ］を選択します。



19 [デバイスの設定] タブをクリックします。



20 リストをスクロールさせて、［インストール可能なオプション］を表示します。ここでオプション装置の装着状況を設定します。



注意

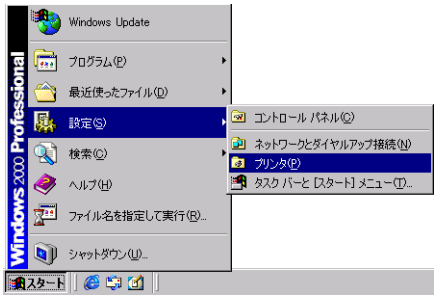
コンピュータとプリンターをパラレルインターフェースで接続する場合、ジョブを連続して送信し、操作部からジョブをキャンセルすると、後続のジョブもキャンセルされる場合があります。後続のジョブがキャンセルされることを回避するためには、PostScript ジョブの末尾に [Ctrl-D] を付加するようにしてください。

21 [OK] ボタンをクリックして［プロパティ］を閉じます。

2.2.3 プリンタードライバー初期値の変更

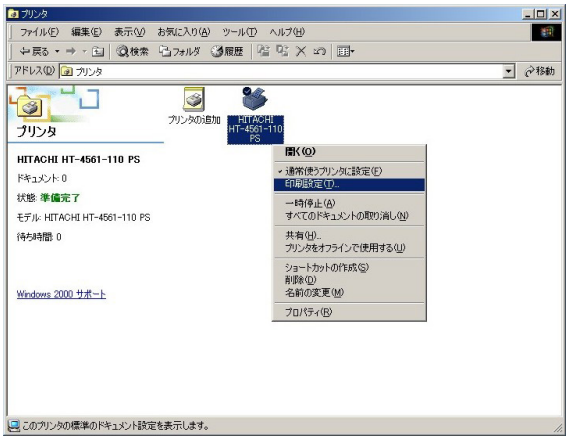
プリンタードライバーの初期設定値を変更するには、次の手順で［印刷設定］を表示します。なお、説明に用いる画面は、Windows 2000 の例です。

1 **Windows 2000 の場合**
［スタート］→［設定］→［プリンタ］を選択します。



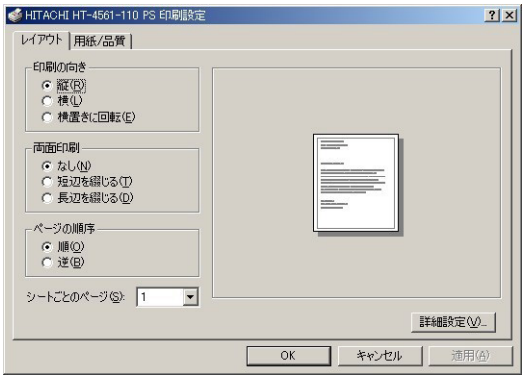
Windows XP の場合
［スタート］→［コントロールパネル］を選択し、コントロールパネルを開きます。次に［プリンタと FAX］をダブルクリックします。
Windows Server 2003 の場合
［スタート］→［コントロールパネル］→［プリンタと FAX］を選択し、プリンタと FAX を開きます。

2 **Windows 2000 の場合**
プリンターアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして［印刷設定］を選択します。

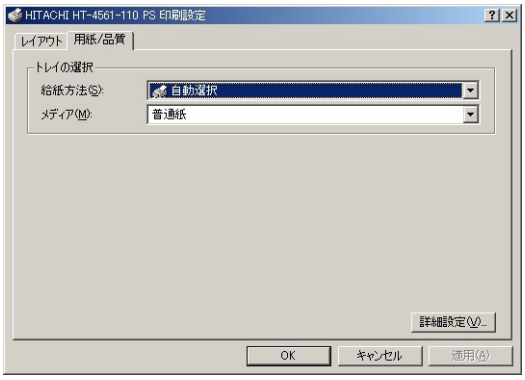


Windows XP/Server 2003 の場合
プリンタアイコンを選択し、［プリンタのタスク］→［印刷設定の選択］をクリックします。

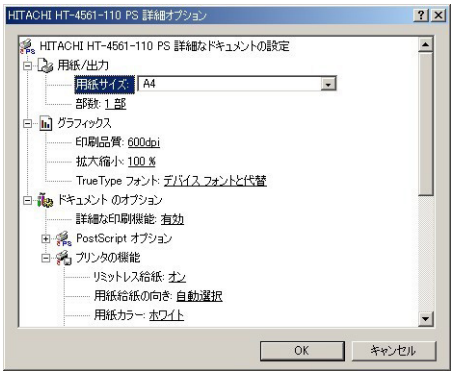
3 ［レイアウト］［用紙 / 品質］タブをクリックすると、印刷設定の表示内容が切り替わります。



4 さらに［詳細設定］ボタンをクリックすると［詳細オプション］が表示されます。



5 設定内容を保存するには［OK］ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。



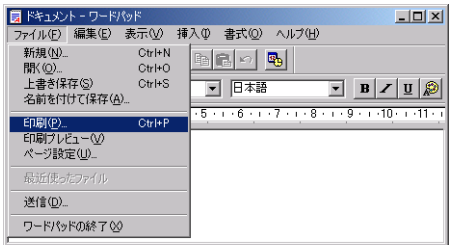
ポイント 各項目の説明についてはオンラインヘルプをご覧ください。オンラインヘルプを表示するには、ヘルプを表示させたい項目にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして［ヘルプ］を選択します。また、「2.3 プリンター固有機能」の説明もご覧ください。

2.2.4 アプリケーションソフトからの印刷

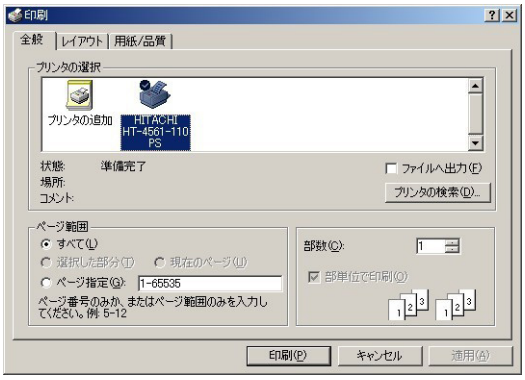
アプリケーションソフトから印刷するときにプリンタードライバーの設定を変更するには、次の手順で操作を行います。

> **注意** アプリケーションソフトによっては、印刷ダイアログを独自に拡張しているものがあります。アプリケーションソフト固有の印刷機能やオプション設定などについては、それぞれのアプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。以下の手順は Windows 2000 付属のワードパッドの例です。

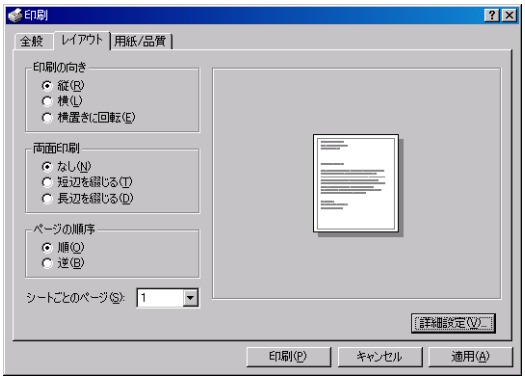
1 アプリケーションソフトを起動して、[ファイル] → [印刷] を選択します。



2 [プリンタの選択] リストから PostScript プリンタードライバーを選択して [レイアウト] や [用紙／品質] タブをクリックします。(Windows XP/Server 2003 の場合は [詳細設定] ボタンをクリックします。)

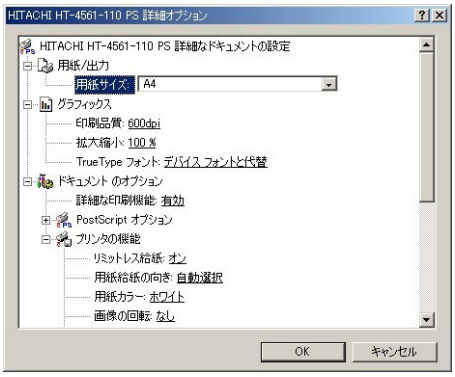


3 [詳細設定] ボタンをクリックすると [詳細オプション] が表示されます。

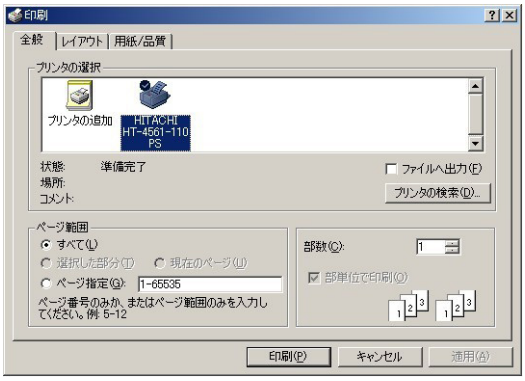


> **ポイント** 各項目の説明についてはオンラインヘルプをご覧ください。オンラインヘルプを表示するには、ヘルプを表示させたい項目にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [ヘルプ] を選択します。また、「2.3 プリンター固有機能」の説明もご覧ください。

4 プリンタードライバーの設定を変更したら [OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。



5 [印刷] ボタンをクリックすると印刷処理が開始されます。



> **注意** アプリケーションソフトによっては、[部単位で印刷] や [丁合い] のチェックボックスが表示されるものがあります。この [部単位で印刷] や [丁合い] のチェックは必ず外してください。チェックボックスをチェックした状態で複数部数印刷を行うと、プリンターへ送信する印刷データ量が増大して印刷スピードが低下する原因となります。また、ステープルやジョブ仕分けなどのオプション機能も正常に働きません。
> 印刷ダイアログの [部単位で印刷] または [丁合い] のチェックを外して印刷を行っても、[プリンタの機能] → [丁合い] の設定が“有効”(初期値) であれば、各部ごとにページ順で印刷を行うことができます。

> **参考** Adobe PageMaker から印刷する場合は、ご購入のプリンターに対応したプリンター記述 (PPD) ファイルが必要です。「使用説明書・ドライバー & ユーティリティー」CD-ROM の "Drivers¥x86¥PS¥XP_VISTA¥DISK1¥" フォルダに格納してある PPD ファイルを、PageMaker 本体がインストールされているフォルダの [Rsrc] → [Japanese] → [PPD4] フォルダにコピーしてください。PageMaker からの印刷については、PageMaker のマニュアルをご覧ください。

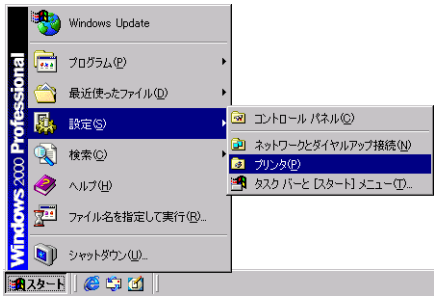
2.2.5 プリンタードライバーのアンインストール

2.2.5.1 プリンターアイコンの削除

プリンタードライバーを削除するには、次の手順で操作を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows 2000 の例です。

1 [Administrator]などの管理者権限を持ったユーザ名で Windows にログオンします。このとき動作中のアプリケーションソフトはすべて終了させてください。

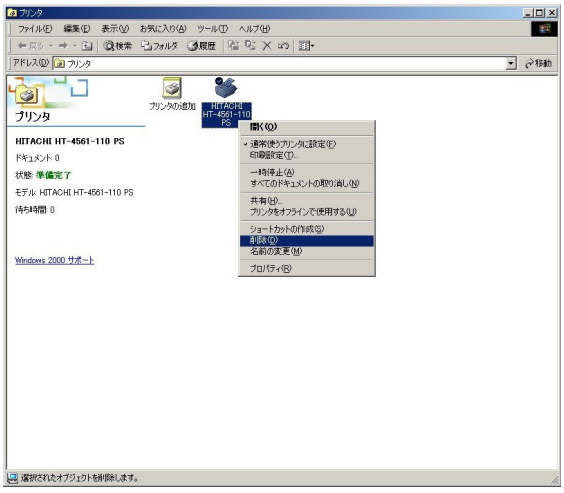
2 **Windows 2000 の場合**
[スタート] → [設定] → [プリンタ] を選択します。



Windows XP の場合
[スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。次に [プリンタと FAX] をダブルクリックします。

Windows Server 2003 の場合
[スタート] → [コントロールパネル] → [プリンタと FAX] を選択し、プリンタと FAX を開きます。

3 削除するプリンタードライバーのプリンターアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [削除] を選択します。



4 [はい] ボタンをクリックします。削除したいプリンターに対して 3 から 4 を繰り返します。

5 次の処理を行うために一旦 Windows を再起動します。

ポイント 続けて 6 以降の処理を行うためには必ずコンピュータを再起動してください。再起動しない場合はプリンタードライバー関連のファイルを削除することができません。

6 再度、[プリンタ] または [プリンタと FAX] を開き [ファイル]→[サーバーのプロパティ]を選択します。

7 [プリントサーバーのプロパティ] ダイアログが表示されます。[インストールされたプリンタドライバ] のリストから削除対象のプリンター名を選択して [削除] ボタンをクリックします。

8 削除確認メッセージが表示されますので [はい] ボタンをクリックします。削除したいプリンターに対して 7 から 8 を繰り返します。

2.3 プリンター固有機能

プリンター固有機能の設定項目について説明します。

参考 プリンタードライバーで［プリンタの機能］を表示するには、本章の「プリンタードライバーの初期値変更」「アプリケーションソフトからの印刷」をご覧ください。

◇ 用紙サイズ（初期値：A4）
印刷する用紙サイズを選択します。

注意
下記の用紙サイズについては、製品仕様の名称とは異なり、次の名称が画面表示されます。
（製品仕様）$12^{3}/_{5} \times 18^{1}/_{2}$ →
（画面表示）12.6 × 18.5
（製品仕様）$12^{3}/_{5} \times 19^{1}/_{5}$ →
（画面表示）12.6 × 19.2
（製品仕様）$13 \times 19^{1}/_{5}$ → （画面表示）13 × 19.2
（製品仕様）$5^{1}/_{2} \times 8^{1}/_{2}$ → （画面表示）5.5 × 8.5
（製品仕様）$8^{1}/_{4} \times 14$ → （画面表示）8.25 × 14
（製品仕様）11 × 17 → （画面表示）DLT
（製品仕様）$8^{1}/_{2} \times 14$ → （画面表示）Legal
（製品仕様）$8^{1}/_{2} \times 11$ → （画面表示）Letter
（製品仕様）不定形サイズ → （画面表示）PostScript カスタムページサイズ

◇ 両面印刷
用紙の裏側に印刷するページイメージの向きによって［短辺を綴じる］または［長辺を綴じる］を選択します。

◇ 給紙方法（初期値：自動選択）
用紙を給紙するトレイを選択します。［自動選択］の場合は［用紙サイズ］［用紙の種類（メディア）］［用紙給紙の向き］の指定にマッチしたトレイが選択されます。

◇ 排紙先選択／排出方法（初期値：システムデフォルト）
用紙の排紙先を指定します。

◇ 用紙の種類／メディア（初期値：普通紙）
印刷する用紙の種類を選択します。トレイにセットした用紙の種類をご確認の上、指定してください。

◇ 用紙給紙の向き（初期値：自動選択）
通常は［自動選択］で印刷を行ってください。
給紙トレイに用紙をセットする場合、［用紙給紙の向き］に着目すると次の 2 つの種類に分けられます。
- 用紙の長い辺から給紙するように用紙の向きをセットする（LEF：Long Edge Feed）
- 用紙の短い辺から給紙するように用紙の向きをセットする（SEF：Short Edge Feed）

◇ ソート（初期値：する）
［する］を選択すると、文書を複数部数印刷するときに、各部ごとにページ順で印刷を行います。［しない］を選択すると、各ページごとに指定部数分の印刷を行います。

注意
アプリケーションソフトによっては、印刷ダイアログに［部単位で印刷］または［丁合い］のチェックボックスが現われるものがあります。複数部数印刷する場合は、印刷ダイアログの［部単位で印刷］または［丁合い］のチェックは必ず外してください。このチェックボックスをチェックした状態で複数部数印刷を行うと、プリンターへのデータ転送量が増大して印刷スピードが低下する原因となります。また、ステープルやジョブ仕分けなどのオプション機能も正常に働きません。

◇ リミットレス給紙（初期値：オン）
［オン］を選択すると、印刷途中で給紙トレイの用紙がなくなった場合に、自動的に他のトレイに給紙先を切り替えて印刷を継続することができます。［オフ］を選択すると、印刷途中で用紙がなくなっても他のトレイへの自動切り替えは行われません。

参考 ［リミットレス給紙］は、用紙サイズの他に用紙の種類、重量、向き（LEF/SEF）、それぞれの条件がすべて一致している他のトレイがある場合に行われます。

◇ おもて面排紙（初期値：オフ）
［オン］を選択すると、片面印刷時に印刷面が上向きとなるように用紙を排紙します。

◇ 印刷可能領域（初期値：余白なし）
［余白なし］を選択すると、用紙全面に縁なしで印刷することが可能になります。［ 余白あり ］を選択すると、用紙縁面の印刷保障領域外の部分には印刷を行いません。

◇ ジョブ仕分け（初期値：しない）
［する］を選択すると、印刷ジョブ単位、部単位でのオフセット排紙を行います。

◇ アミ点形状、ハーフトーン線数、スクリーン角度（初期値：システムデフォルト）
ハーフトーン処理を行うときのアミ点形状、線数、角度を指定します。[ハーフトーン線数][スクリーン角度]で［システムデフォルト］以外の値を指定するには、まず［アミ点形状］で［システムデフォルト］以外の形状を選択してください。

ポイント ハーフトーン線数とスクリーン角度は、それぞれの値とプリンター解像度との相互関係により変化します。このため、[ハーフトーン線数][スクリーン角度]の指定値と、実際の印刷結果が異なる場合があります。また、アプリケーションソフトによっては、プリンタードライバーでの［アミ点形状］[ハーフトーン線数][スクリーン角度]の指定を無効にするものがあります。

◇ ステープル（初期値：しない）
[3000 枚フィニッシャー シフトトレイ][2500 枚フィニッシャー シフトトレイ]（[2500 枚フィニッシャー 中とじトレイ][トリマートレイ]に排紙する時、ステープル =［中央２箇所］を指定可能 ）に排紙するときに、用紙縁面中央２箇所、用紙コーナー１箇所のいずれかを選択します。

設定値	ステープル位置
左上１箇所	
右上１箇所	
左下１箇所	
右下１箇所	
左２箇所	
右２箇所	
上２箇所	
下２箇所	
中央２箇所	

ポイント ステープル位置は、文書の印刷の向き（縦／横）、用紙サイズ、用紙の向き（LEF ／ SEF）などの設定により異なります。

◇ 印刷品質（初期値：600dpi）
印刷する際の解像度を選択します。

◇ 用紙カラー（初期値：ホワイト）
印刷する用紙のカラーを選択します。トレイにセットした用紙のカラーをご確認の上、指定してください。

◇ 画像の回転（初期値：なし）
画像を回転させて印刷するかどうかを選択します。

◇ 折り方設定（初期値：しない）
印刷した用紙の折り方を選択します。

◇ パンチ（初期値：しない）
印刷した用紙をパンチするかどうか選択します。

◇ 小口カットを行う（初期値：オフ）
[トリマートレイ]に排紙するときに、小口カットを行うかどうかを選択します。

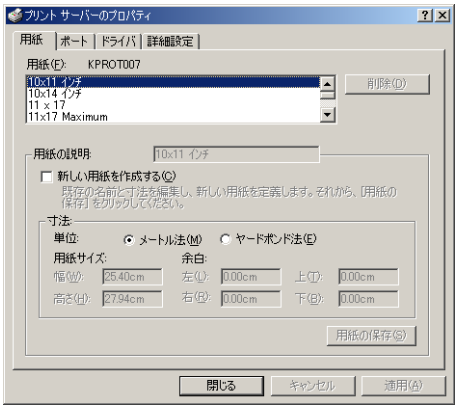
2.4 カスタムサイズ用紙に印刷するには

ポイント プリンター操作パネルの［用紙設定］→対象トレイ選択→［用紙サイズ］で、カスタム用紙のサイズを設定します。プリンターの操作パネルの操作方法については製品添付の『プリンター機能編』（ ）をご覧ください。

説明に用いる画面は、Windows2000 の例です。

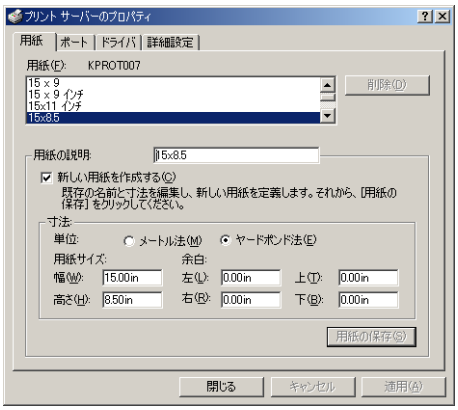
1 **Windows 2000 の場合**
［スタート］→［設定］→［プリンタ］を選択します。
Windows XP/Server 2003 の場合
［スタート］→［コントロールパネル］→［プリンタと FAX］を選択します。
Windows Vista/Server 2008 の場合
［スタート］→［コントロールパネル］を選択し、［コントロールパネル］から［プリンタ］をダブルクリックします。

2 **Windows 2000/XP/Server2003 の場合**
［ファイル］→［サーバーのプロパティ］を選択します。
Windows Vista/Server 2008 の場合
プリンターリスト上で右ボタンをクリックして［管理者として実行］→［サーバーのプロパティ］を選択します。



3 ［用紙］タブ上で、［新しい用紙を作成する］をチェックし、幅と高さを設定して［用紙の保存］ボタンをクリックします。

参考 たとえば、15x8.5 インチの用紙サイズをすべて余白無しで作成した場合は下記のようになります。



ポイント アプリケーションソフト上では新しく追加した用紙サイズ名を直接指定します。新しく追加した用紙サイズは、アプリケーションソフトとプリンタードライバーとの組み合わせにより正しく動作しない場合があります。あらかじめ試し印刷を行い、正しく印刷できることを確認してからご使用ください。

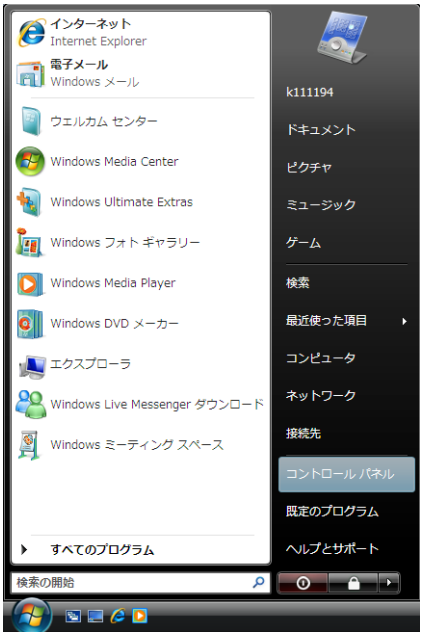
2.5 プリンタードライバーのバージョンを確認するには

プリンタードライバーのバージョン情報は次の画面でご確認ください。

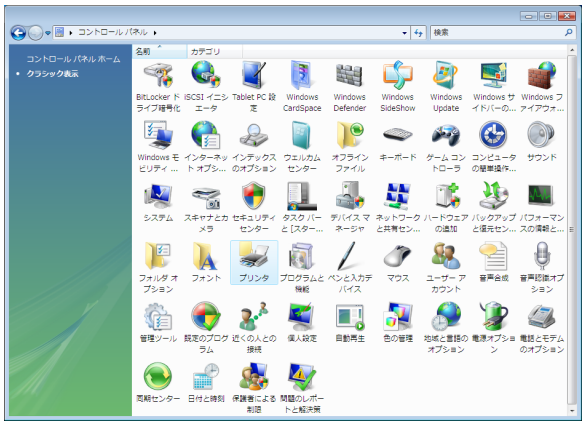
2.5.1 Windows Vista/Server 2008 標準 PostScript プリンタードライバー

説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

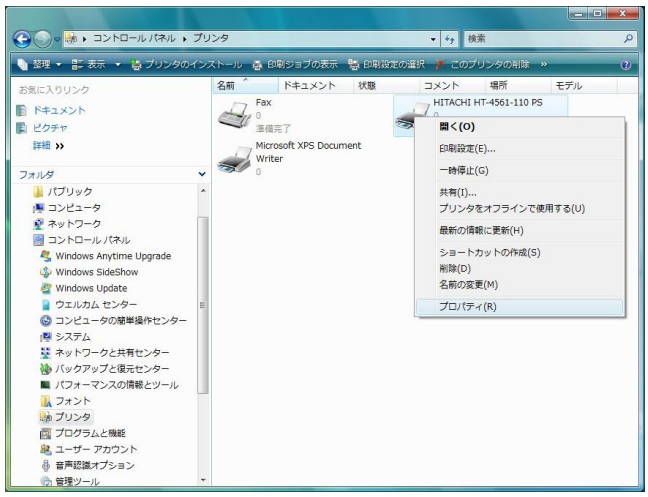
1 [スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。



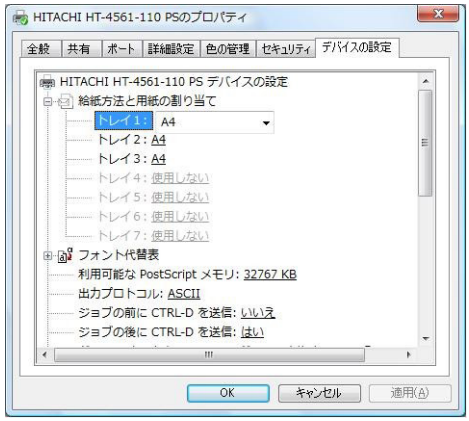
2 [プリンタ] アイコンをダブルクリックします。[プリンタ] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから [クラシック表示] を選択してください。



3 プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [プロパティ] を選択します。



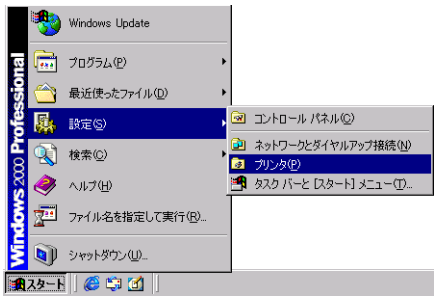
4 [デバイスの設定] タブを選択し、[... デバイスの設定] と表示されている部分をクリックします。さらに右クリックして [バージョン情報] を選択します。

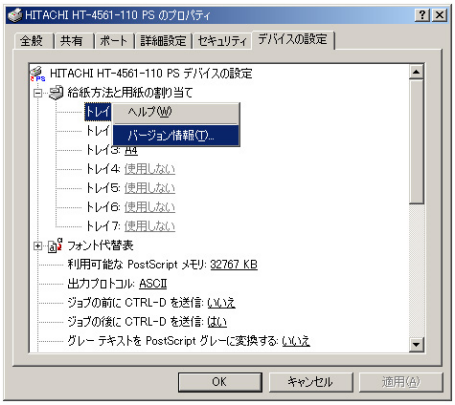


5 バージョン情報を確認します。

2.5.2 Windows 2000/XP/Server 2003 標準 PostScript プリンタードライバー

説明に用いる画面は、Windows 2000 の例です。





1 **Windows 2000 の場合**
[スタート] → [設定] → [プリンタ] を選択します。

Windows XP/Server 2003 の場合
[スタート] → [コントロールパネル] → [プリンタと FAX] を選択します。

2 **Windows 2000 の場合**
プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして[プロパティ]を選択します。

Windows XP/Server 2003 の場合
プリンタアイコンを選択し、[プリンタのタスク] → [プリンタのプロパティの設定] をクリックします。

3 [デバイスの設定] タブをクリックします。

4 [...デバイスの設定]と表示されている部分をクリックします。さらに右クリックして [バージョン情報] を選択します。

2.6 プリンタードライバーの「フォント代替表」の設定手順（増設日本語フォント）

増設日本語フォント JIS2004 対応および日立書体対応フォントを印刷するときには、下記の設定を行なってください。説明に用いる画面は、Windows Server 2003 R2（64ビット版）の日立書体（明朝、ゴシック）の指定例です。印刷するフォントにより、選択するドライバー名が異なります。下記の様にドライバー名を選択し、印刷するフォントへの代替を設定してください。

注意

(1) 増設日本語フォント JIS2004 セット J／JIS2004 セット W の印刷指定：
・選択するドライバ名：「HITACHI HT-4561-110 PSA」または「HITACHI HT-4561-135 PSA」
・注意事項：アプリケーションソフト上は、MS 明朝または MS ゴシックを書体指定し、印刷するフォント（フォント名 RTB 明朝 J M／RTB 明朝 W M 等）への代替設定をしてください。

(2) 増設日本語フォント 日立書体／日立書体セット 2 の印刷指定：
・選択するドライバ名：「HITACHI HT-4561-110 PSB」または「HITACHI HT-4561-135 PSB」
・注意事項：アプリケーションソフト上は、MS 明朝または MS ゴシックを書体指定し、印刷するフォント（フォント名 日立明朝 M／日立明朝 S2 M 等）への代替設定をしてください。

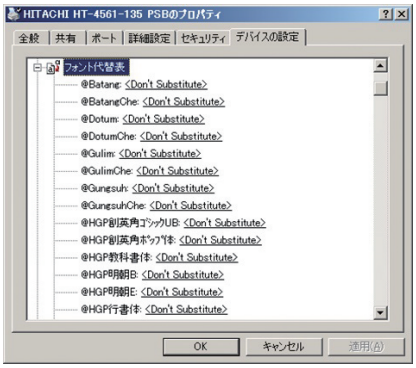
フォント代替表で指定するフォント名称など、その他の注意事項は、次の内容を参照してください。

・『本機をお使いになる方へ』「増設日本語フォント JIS2004 対応および日立書体対応フォントの注意事項」

1 [スタート] →[プリンタと FAX] を選択し開きます。

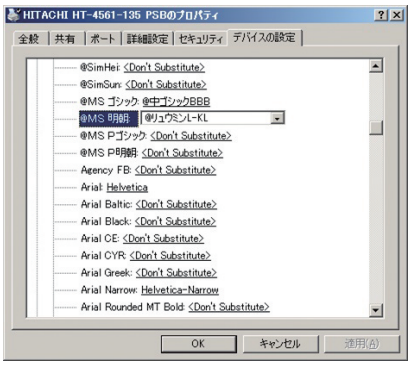
2 プリンターアイコン上にマウスボタンを合わせます。右ボタンをクリックして [プロパティ] を表示します。

3 [デバイスの設定] タブを選択し、[フォント代替表] の左側の「＋」をクリックし、フォント名一覧を表示します。

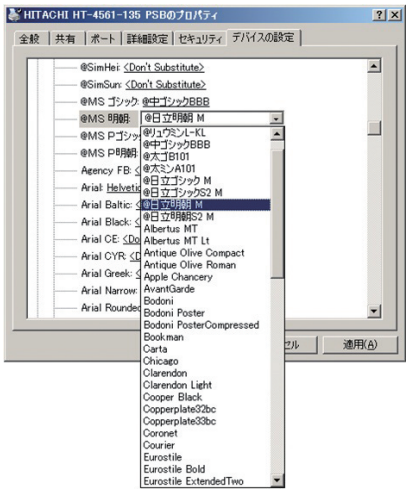


ポイント Windows Server 2012 R2 で同じプリンター名のドライバーを複数インストールした場合、プリンターアイコンが画面表示されていないことがあります。その際、プリンターアイコン上でマウス右ボタンをクリックし、「通常使用するプリンタに設定」から使用するプリンタドライバーを選択すると表示されます。

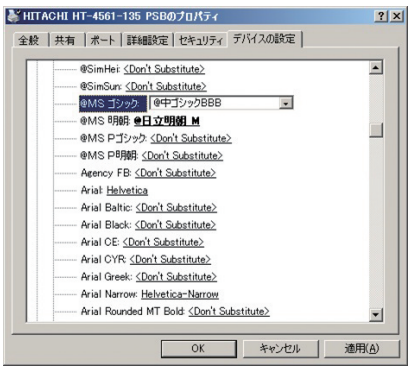
4 **縦書き用 日立明朝の設定**：
右側の▼を押して画面を下側にスクロールし、[@MS 明朝] の右側の [@ リュウミン L-KL] の文字を押し、右側の▼を押します。



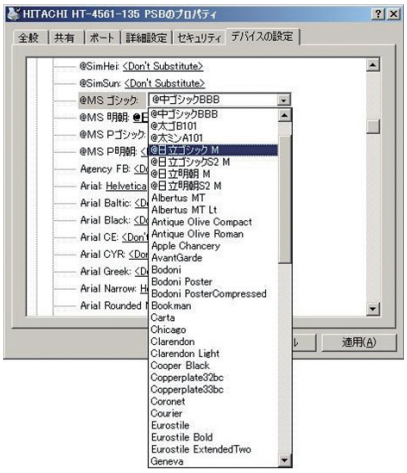
5 [@ 日立明朝 M] を選択して右下の [適用] ボタンを押します。



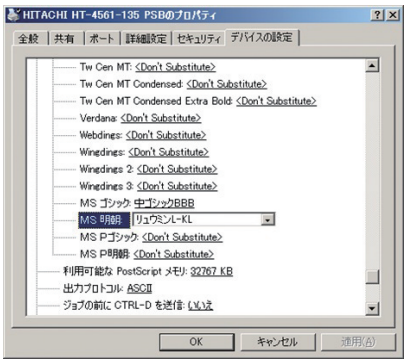
6 **縦書き用 日立ゴシックの設定**：
[@MS ゴシック] の右側の [@ 中ゴシック BBB] の文字を押し、右側の▼を押します。



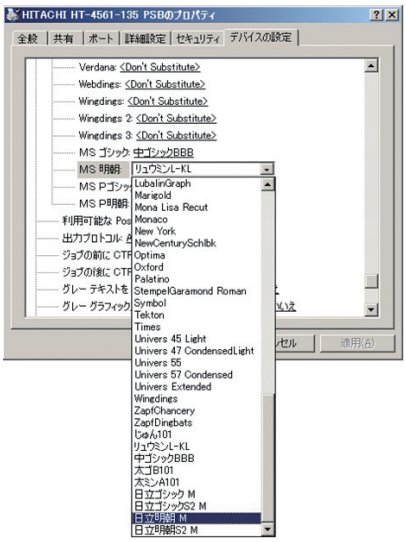
7 [@ 日立ゴシック M] を選択し、右下の [適用] ボタンを押します。



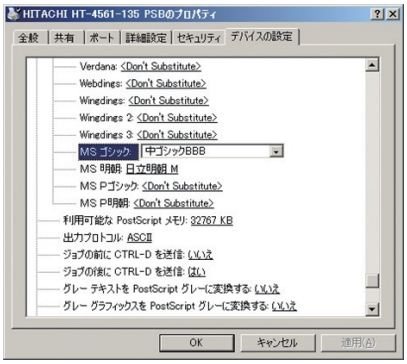
8 **横書き用 日立明朝の設定**：
右側の▼を押して画面を下側にスクロールし、[MS 明朝] の右側の [リュウミン L-KL] の文字を押し、右側の▼を押します。



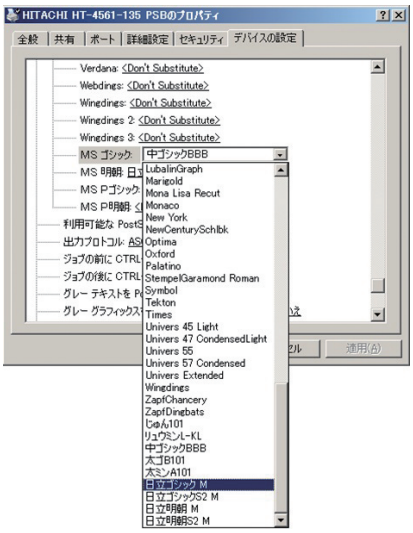
9 [日立明朝 M] を選択して右下の [適用] ボタンを押します。



10 **横書き用 日立ゴシックの設定**：
[MS ゴシック] の右側の [中ゴシック BBB] の文字を押し、右側の▼を押します。



11 [日立ゴシック M] を選択し、右下の [適用] ボタンを押し、次に「OK」を押し画面を閉じます。



第 3 章

付録

第 3 章　付録

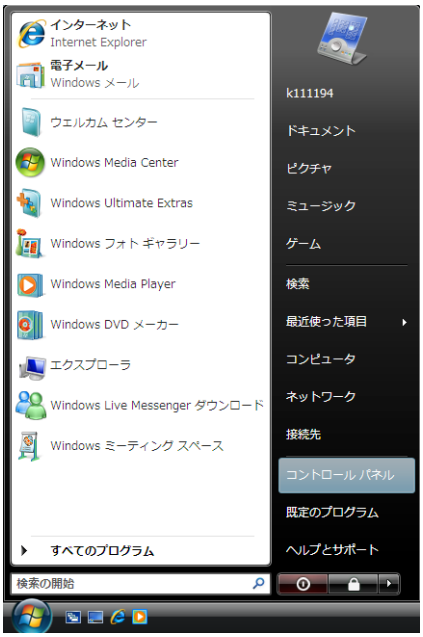
3.1 Windows Vista/Server 2008 の接続ポートの設定について

3.1.1 LPR ポートの追加

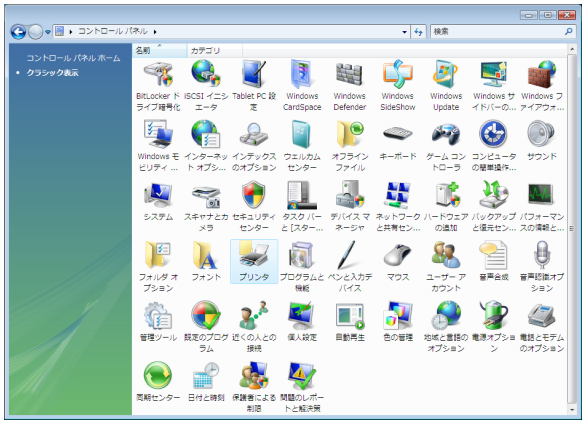
プリンター出力用のポートを追加するには次の手順で操作を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

1 [Administrator]などの管理者権限を持ったユーザ名で Windows にログオンします。

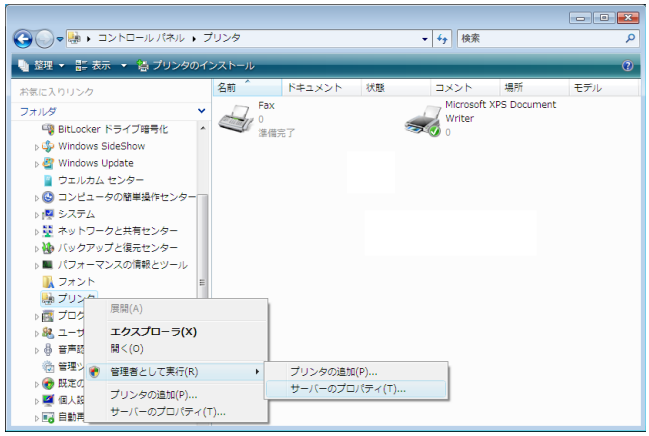
2 [スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。



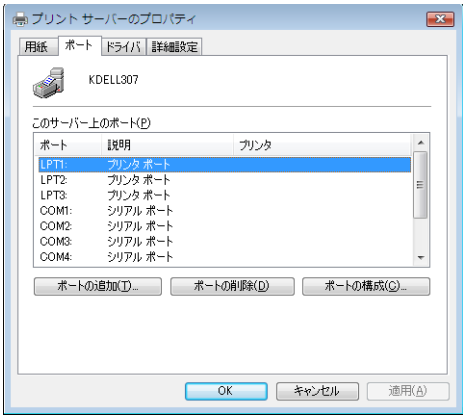
3 [プリンタ] アイコンをダブルクリックします。[プリンタ] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから [クラシック表示] を選択してください。



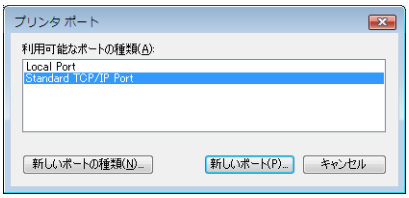
4 画面左側のプリンターメニューをマウス右ボタンクリックし、[管理者として実行] → [サーバーのプロパティ] を選択します。[プリントサーバーのプロパティ] ダイアログが表示されます。



5 [プリントサーバーのプロパティ]ダイアログの[ポート]タブを選択して［ポートの追加］ボタンをクリックします。

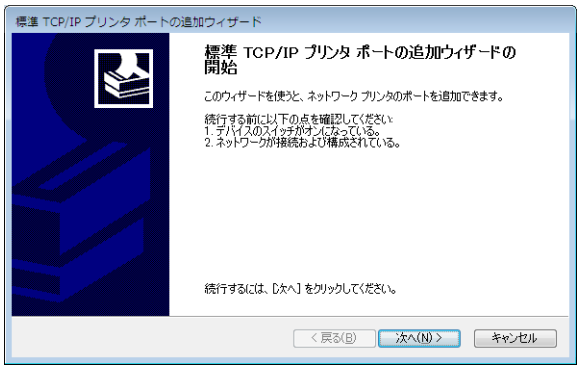


6 [Standard TCP/IP Port] を選択し、[新しいポート]ボタンをクリックします。

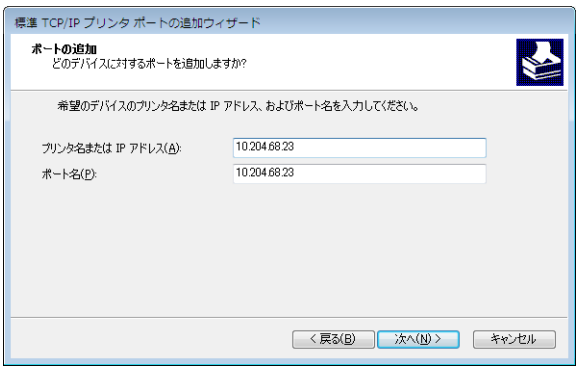


ポイント リストに［LPR Port］が表示される場合でも、必ず[Standard TCP/IP Port] を選択してください。

7 [次へ] ボタンをクリックします。

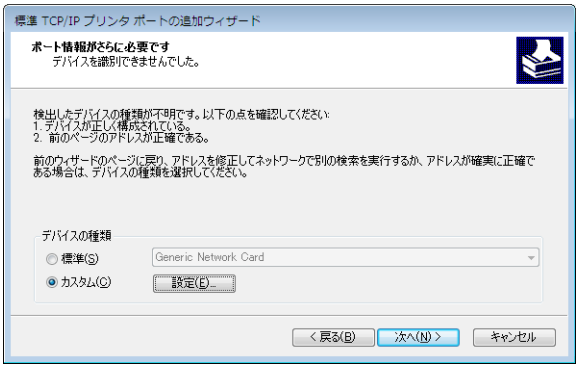


8 [プリンタ名または IP アドレス］にはプリンターの IP アドレスを入力して、[次へ] ボタンをクリックします。なお、[ポート名] は任意の名称に変更することも可能です。

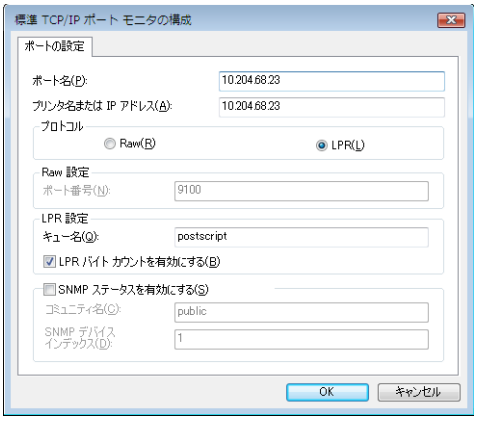


参考 プリンターの IP アドレスは、プリンター初期設定で設定されている IP アドレスを指定してください。

9 [カスタム] を選択して［設定］ボタンをクリックします。

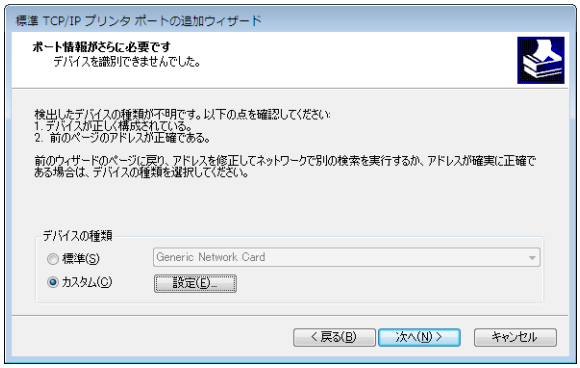


10 [プロトコル] は［LPR］を選択します。[キュー名]には仮想プリンター名を入力し、[LPR バイトカウントを有効にする] のチェックを ON にして［OK］ボタンをクリックします。

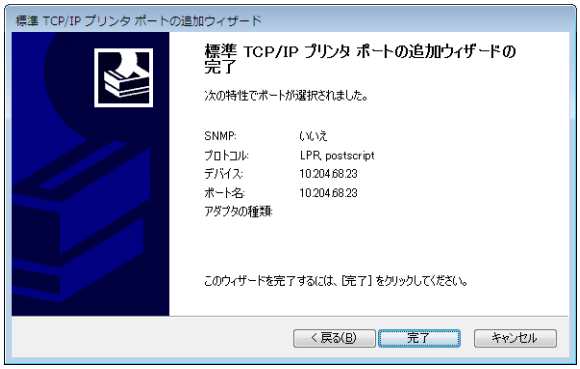


ポイント 仮想プリンターはプリンター本体に設定されているもので、“postscript” などの仮想プリンターがあらかじめ定義されています。工場出荷時の状態では、ページ記述言語で PostScript を使用する場合は “postscript” を仮想プリンター名として使用します。“postscript” はすべて英字の小文字で入力します。仮想プリンターの設定に関する詳細は、製品添付の「プリンター機能編」をご覧ください。

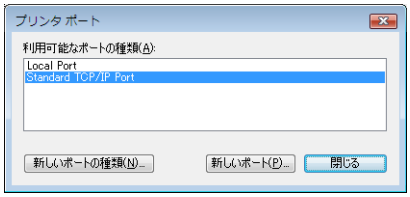
11 [次へ] ボタンをクリックします。



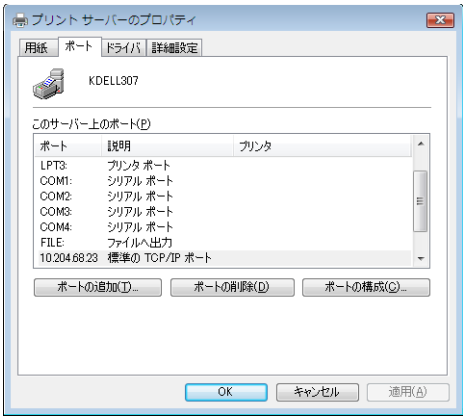
12 [完了] ボタンをクリックします。



13 [閉じる] ボタンをクリックします。



14 [OK] ボタンをクリックして [プリントサーバーのプロパティ] ダイアログを閉じます。

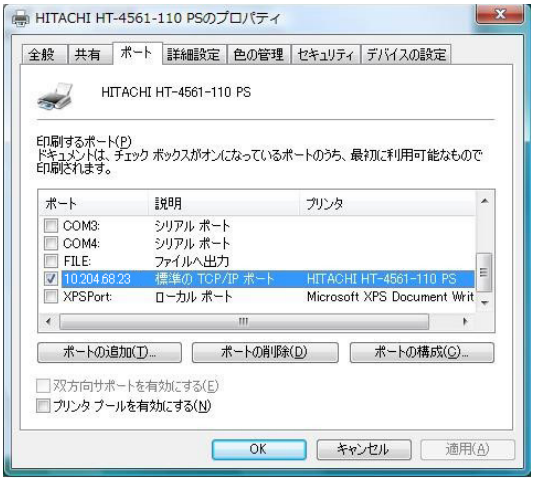


3.1.2 印刷するポートの変更

IP アドレスの変更などによりプリンターとの接続先を変更しなければならない場合や、プリンタードライバーが生成する印刷データをファイルに保存する場合は、次の手順でプリンターとの接続ポートを変更します。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

1 [Administrator]などの管理者権限を持ったユーザ名で Windows にログオンします。

2 [プリンタ] フォルダで、プリンターアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして[プロパティ]を選択し、[ポート]タブを選択します。



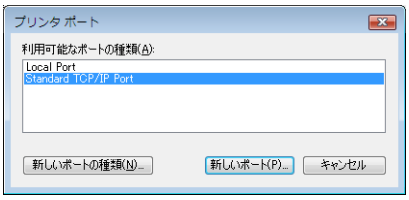
3 [印刷するポート] リストから接続ポートを選択し、[OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。

ポイント プリンタードライバーが生成する印刷データをファイルに保存する場合は [FILE] を選択します。新たに接続ポートを追加する場合は [ポートの追加] ボタンをクリックします。

3.1.2.1 LPR ポートを新規追加する場合

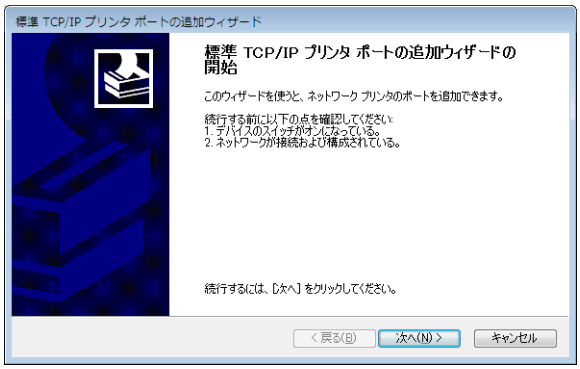
1 [ポート] プロパティで [ポートの追加] ボタンをクリックします。

2 [Standard TCP/IP Port] を選択し、[新しいポート] ボタンをクリックします。

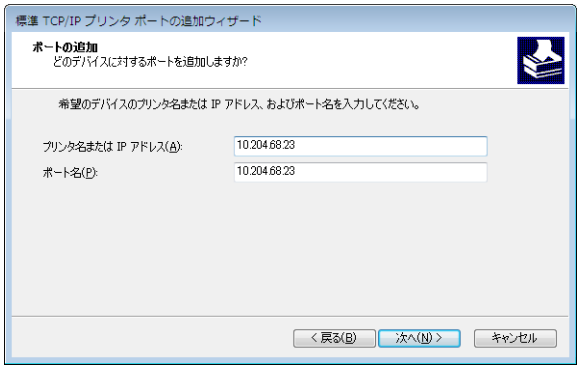


ポイント リストに [LPR Port] が表示される場合でも、必ず [Standard TCP/IP Port] を選択してください。

3 [次へ] ボタンをクリックします。

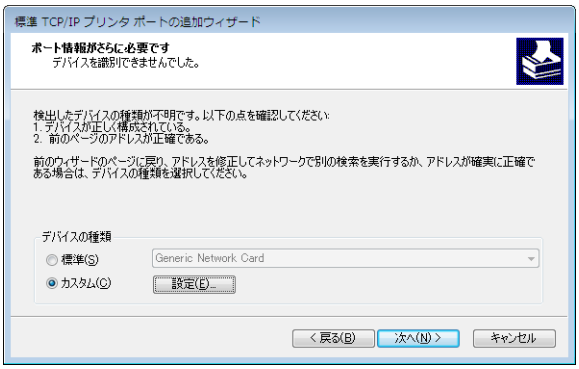


4 [プリンタ名または IP アドレス] にはプリンタの IP アドレスを入力して、[次へ] ボタンをクリックします。なお、[ポート名] は任意の名称に変更することも可能です。

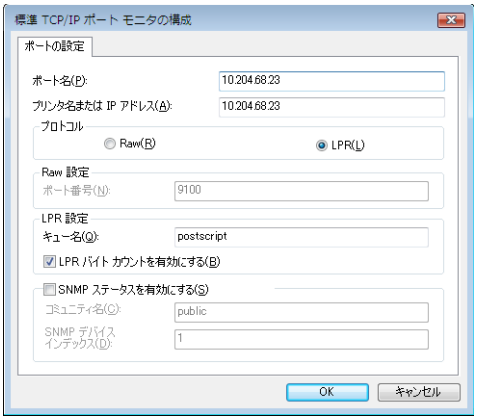


参考 プリンターの IP アドレスは、プリンター初期設定で設定されている IP アドレスを指定してください。

5 [カスタム] を選択して [設定] ボタンをクリックします。

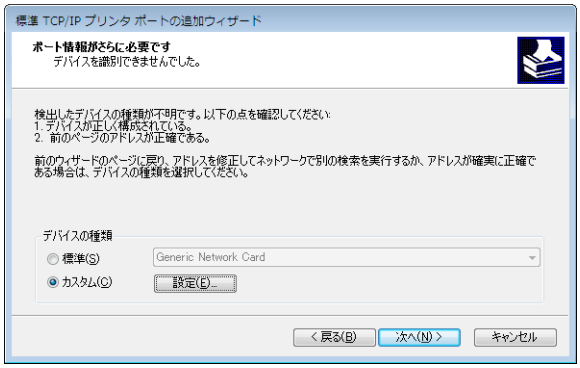


6 [プロトコル] は [LPR] を選択します。[キュー名] には仮想プリンター名を入力し、[LPR バイトカウントを有効にする] のチェックを ON にして [OK] ボタンをクリックします。

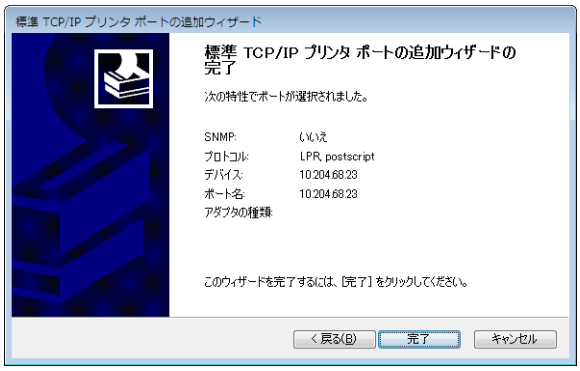


ポイント 仮想プリンターはプリンター本体に設定されているもので、“postscript” などの仮想プリンターがあらかじめ定義されています。工場出荷時の状態では、ページ記述言語で PostScript を使用する場合は “postscript” を仮想プリンター名として使用します。“postscript” はすべて英字の小文字で入力します。仮想プリンターの設定に関する詳細は、製品添付の「プリンター機能編」をご覧ください。

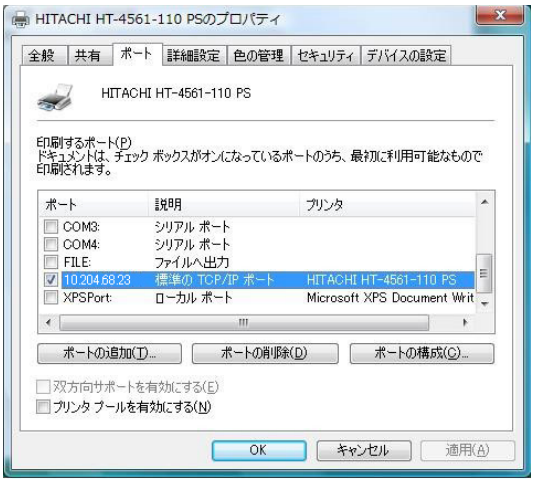
7 [次へ] ボタンをクリックします。



8 [完了] ボタンをクリックします。



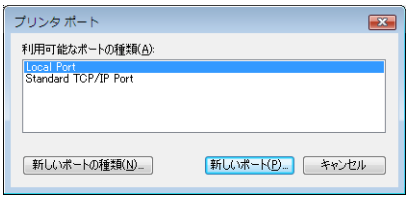
9 [OK] ボタンをクリックして［プリンタポート］ダイアログを閉じます。



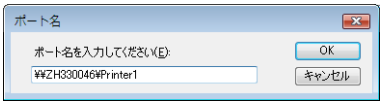
3.1.2.2 プリントサーバを経由して印刷する場合

1 [ポート] プロパティで [ポートの追加] ボタンをクリックします。

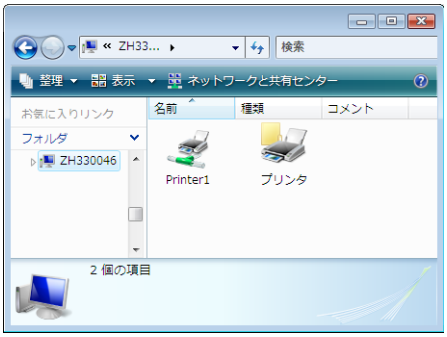
2 [Local Port] を選択し、[新しいポート] ボタンをクリックします。



3 [ポート名] を “¥¥ サーバ名 ¥ 共有プリンター名” の書式で入力します。図はサーバ名が ZH330046 で共有プリンター名が Printer1 の場合の例です。

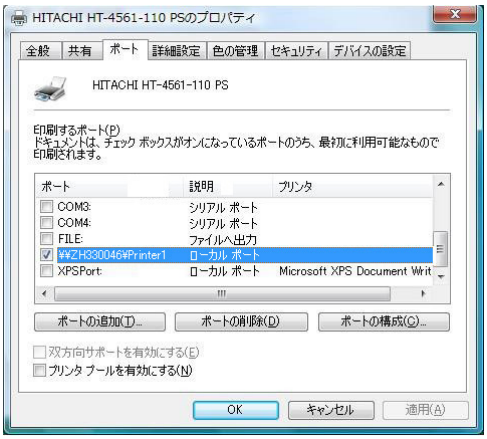


ポイント ポート名として入力することができるサーバ名と共有プリンター名を確認するには、スタートメニューの [ネットワーク] を起動します。[ネットワーク] からサーバとなるコンピュータを探します。サーバとなるコンピュータのアイコンをダブルクリックして開くと、共有することが可能なプリンター名が表示されます。



4 [OK] ボタンをクリックして [ポート名] ダイアログを閉じます。

5 [OK] ボタンをクリックして [プリンタポート] ダイアログを閉じます。

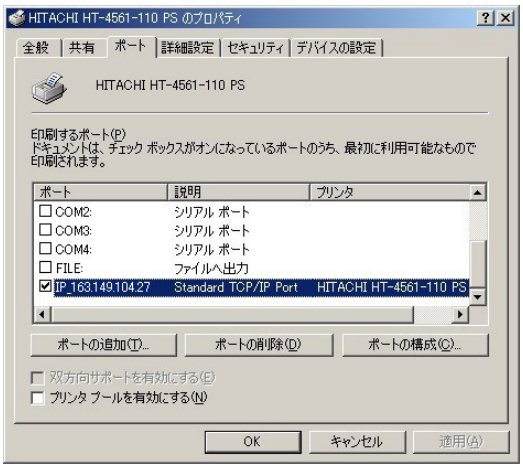


3.2 Windows 2000/XP/Server 2003 の接続ポートの設定について

3.2.1 印刷するポートの変更

IP アドレスの変更などによりプリンターとの接続先を変更しなければならない場合や、プリンタードライバーが生成する印刷データをファイルに保存する場合は、次の手順でプリンターとの接続ポートを変更します。なお、説明に用いる画面は、Windows 2000 の例です。

1 [プリンタ] フォルダで、プリンターアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [プロパティ] を選択し、[ポート] タブを選択します。



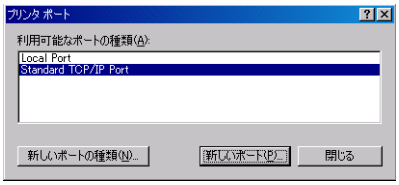
2 [印刷するポート] リストから接続ポートを選択し、[OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。

ポイント プリンタードライバーが生成する印刷データをファイルに保存する場合は [FILE] を選択します。新たに接続ポートを追加する場合は [ポートの追加] ボタンをクリックします。

3.2.1.1 LPR ポートを新規追加する場合

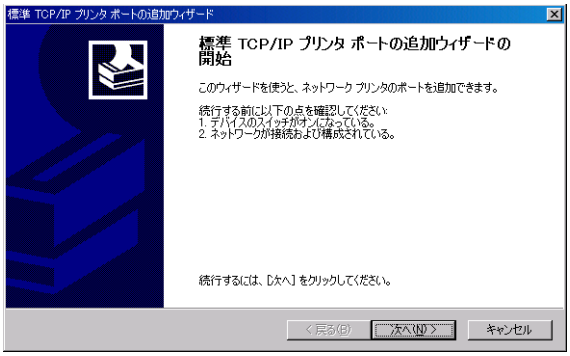
1 [ポート] プロパティで [ポートの追加] ボタンをクリックします。

2 [Standard TCP/IP Port] を選択し、[新しいポート] ボタンをクリックします。

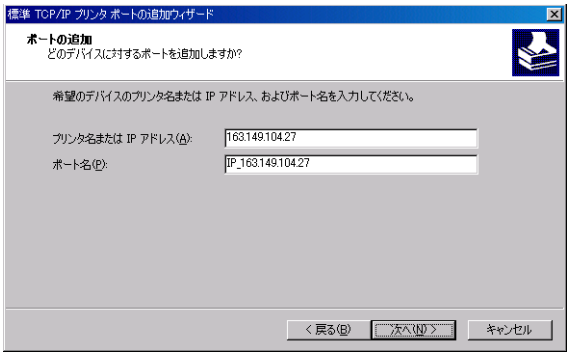


ポイント リストに [LPR Port] が表示される場合でも、必ず [Standard TCP/IP Port] を選択してください。

3 [次へ] ボタンをクリックします。

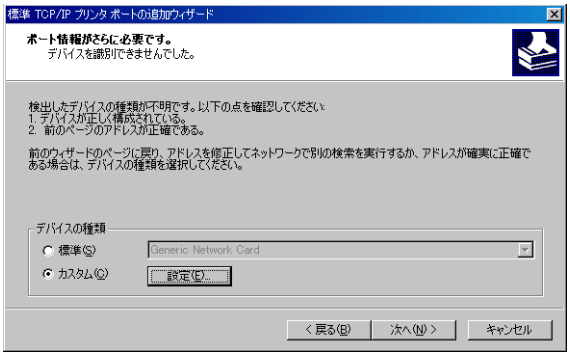


4 [プリンタ名または IP アドレス] にはプリンターの IP アドレスを入力して、[次へ] ボタンをクリックします。なお、[ポート名] は任意の名称に変更することも可能です。

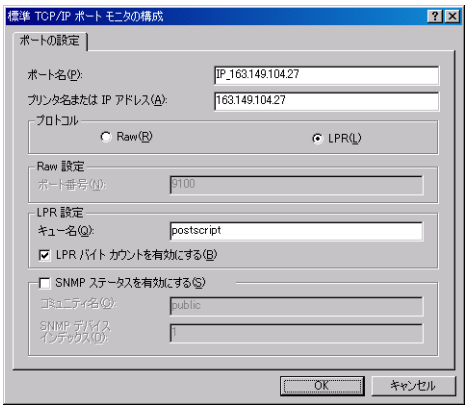


参考 プリンターの IP アドレスは、プリンター初期設定で設定されている IP アドレスを指定してください。

5 [カスタム] を選択して [設定] ボタンをクリックします。

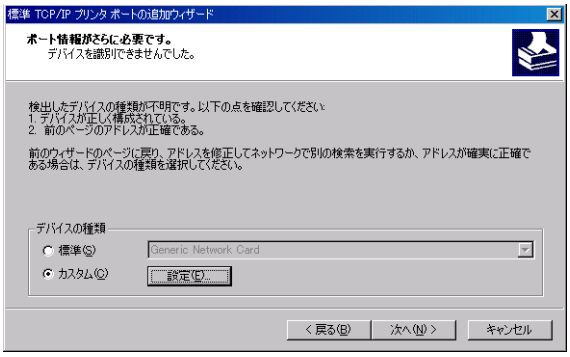


6 [プロトコル] は [LPR] を選択します。[キュー名] には仮想プリンター名を入力し、[LPR バイトカウントを有効にする] のチェックを ON にして [OK] ボタンをクリックします。



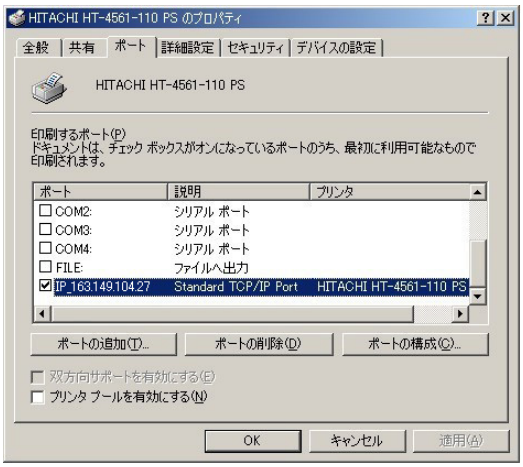
ポイント 仮想プリンターはプリンター本体に設定されているもので、“postscript” などの仮想プリンターがあらかじめ定義されています。工場出荷時の状態では、ページ記述言語で PostScript を使用する場合は “postscript” を仮想プリンター名として使用します。“postscript” はすべて英字の小文字で入力します。仮想プリンターの設定に関する詳細は、製品添付の「プリンター機能編」をご覧ください。

7 [次へ] ボタンをクリックします。



8 [完了] ボタンをクリックします。

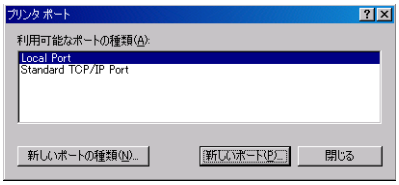
9 [OK] ボタンをクリックして［プリンタポート］ダイアログを閉じます。



3.2.1.2 プリントサーバを経由して印刷する場合

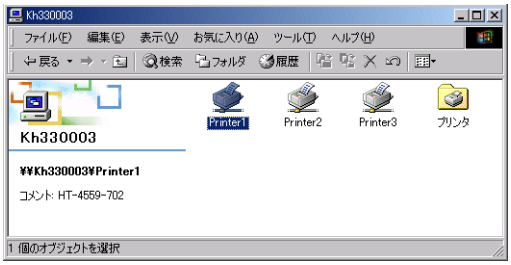
1 [ポート] プロパティで [ポートの追加] ボタンをクリックします。

2 [Local Port] を選択し、[新しいポート] ボタンをクリックします。



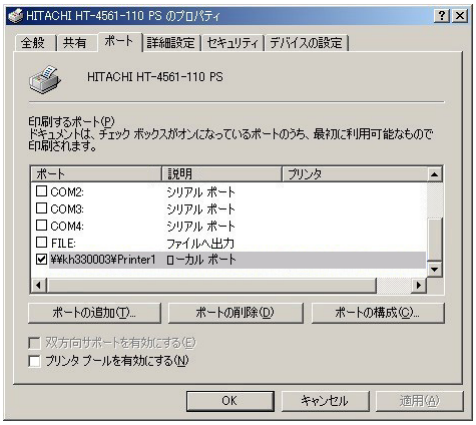
3 [ポート名] を “¥¥ サーバ名 ¥ 共有プリンター名” の書式で入力します。図はサーバ名が kh330003 で共有プリンター名が Printer1 の場合の例です。

ポイント ポート名として入力することができるサーバ名と共有プリンター名を確認するには、デスクトップ上の [マイネットワーク] を使用します。[マイネットワーク] からサーバとなるコンピュータを探します。サーバとなるコンピュータのアイコンをダブルクリックして開くと、共有することが可能なプリンター名が表示されます。



4 [OK] ボタンをクリックして [ポート名] ダイアログを閉じます。

5 [OK] ボタンをクリックして [プリンタポート] ダイアログを閉じます。



3.3 形名の読み替え

本製品の形名は HT-4561-135/110 となりますが、提供している資料やソフトウェア上で異なった形名で表示や説明している部分があります。下記に従い読み替えるようにお願い致します。

- Pro 1357 → HT-4561-135
- Pro 1107 → HT-4561-110

3.4 サポート対象外機能一覧

次の機能は、サポート対象外となっております。
印刷および動作等の保証はしておりません。
また、質問などにもお答え出来かねますのでよろしくご理解願います。
この機能をご利用になる場合には、お客様ご自身で十分に動作確認をしていただき、お客様の責任においてご利用いただくようお願いいたします。
(弊社では、この機能に関してのテスト、評価等の確認は行っておりません。)

- NEC PC98 環境での印刷
- PostScript English 版ドライバーでの印刷
- HT4561 用プリンタードライバー以外を使用しての印刷 (PDF ダイレクトプリントは除く)
- Windows 9x、Windows Me、Windows NT、MAC OS、仮想 OS 環境
- 日本語以外の Windows OS
- Web Image Monitor、Web Interface 以外の機器の監視

3.5 最新ソフトウェアのダウンロード

最新版ソフトウェアは、インターネットのホームページで提供しております。
なお、通信費用はお客様の負担となりますのでご了承ください。
弊社のホームページのアドレス（URL）は以下のとおりです。
http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/printer/

3.5.1 最新の ＯＳ について

最新の OS についての情報は、インターネットのホームページで提供しております。
なお、通信費用はお客様の負担となりますのでご了承ください。
弊社のホームページのアドレス（URL）は以下のとおりです。
http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/printer/

3.6 お問い合わせ先

♦ プリンターの操作方法などについてのお問い合わせ

HITAC カスタマ・アンサ・センターにお問い合わせください。
製品の技術的なお問い合わせについて回答いたします。
ただし、各言語によるユーザープログラム等の技術支援は除きます。
また、故障であると思われる内容につきましては、保守会社にご連絡ください。

HITAC カスタマ･アンサ･センター（HCA センター）	
フリーダイヤル	0120-2580-12
受付時間	9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00 （土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

■コールバック方式

受付担当者がお問い合わせ内容を承り、専門エンジニアが折り返し電話またはメールでお答えします。

♦ 故障や保守サービスについてのお問い合わせ

トラブルが発生した場合は、＜トラブル解決編＞の「困ったときには」をご確認ください。
故障と判断される場合は保守会社にご連絡ください。

ＨＴ－４５６１ページプリンター
PostScript3ガイド

無断転載を禁止します。
落丁・乱丁の場合は，お取り替えいたします。

HITACHI

株式会社日立製作所　情報・通信システム社　ITプラットフォーム事業本部

〒２５９－１３９２　神奈川県秦野市堀山下１番地

4561-060-01

（C）Hitachi，Ltd.2009-2015.All rights reserved.

M004-7560